

エンジン ASSY 脱着

締め付けトルク一覧表

(kg・cm)

締め付け箇所		締め付けトルク	締め付け箇所		締め付けトルク
クランクシャフト ×	フライホイール	1500	エンジンサポート × ボデー メンバー	(2WD)	2200
	ドライブプレート	1820			
クラッチカバー ×	フライホイール	195	スタビライザーブラケット ×	メンバー (4WD)	185
ドライブプレート ×	トルクコンバーター	420	プロペラシャフト ×	フレーム (2WD)	370
シリンダーブロック ×	クラッチハウジング	730	センターサポート		
クラッチハウジング ×	スターター	400	プロペラシャフト ×	コンパニオンフ ランジ (D/F T/F)	750
スチフナープレート ×	シリンダーブロック	730	フランジヨーク		
	クラッチハウジング	730	クラッチリリースシリンダー ×	トランスミッション	120
シリンダー ×	エンジンマウンティング ブロック インシュレーター (4WD)	440	フロント EX パイプ ×	ターボチャージャー	630*
				センターパイプ	400
エンジンマウンティング ×	フレーム (4WD) インシュレーター	380	P/S ポンプ ×	タイミングギヤケース	420
ストラットバー ×	ローアーム (2WD)	1200	バキュームポンプ ×	タイミングギヤカバー	210
			A/C コンプレッサー ×	ブラケット	250

※再使用不可部品

JA5786

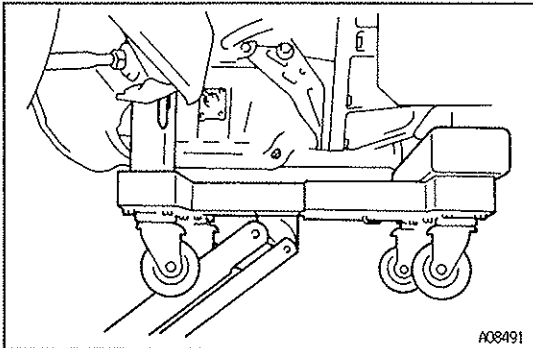
脱着作業上の留意点

- 1 フューエルホース切り離し
 - (1) 脱着作業の前にフューエルタンクキャップをゆるめフューエルタンクの内圧を完全に下げてから行い、周囲に燃料が飛散しないように切り離し部をウェスなどで覆う。
- 2 A/C コンプレッサー取りはずし
 - (1) 低高圧のホース付きで A/C コンプレッサーを取りはずし、針金などで吊っておく。
- 3 P/S ポンプ取りはずし
 - (1) 低高圧ホース付きで P/S ポンプを取りはずし、針金などで吊っておく。

4 エンジン ASSY 取りはずし (2WD)

注意 エンジン ASSY 脱着は、トランスミッションおよびエンジン
フロントサポートメンバー付で脱着する。

- (1) エンジン ASSY 取りはずしに必要な各部品、各ホース類および各ワイヤハーネスを切り離す。



- (2) エンジンサドルを図のようにセットする。

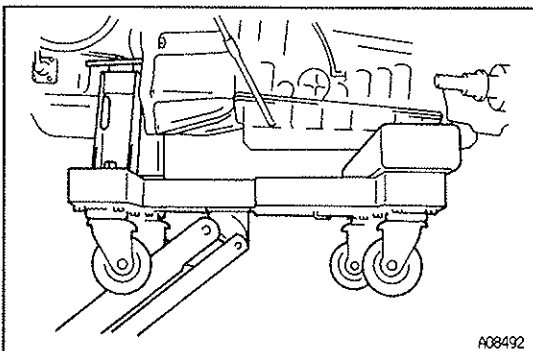
注意 エンジンサドルが水平にセットできるように木片およびス
ペーサーで調整する。

- (3) フロントサポートメンバーおよびリヤマウンティングをボデー
から切り離し、エンジン ASSY W/トランスミッションを取り
はずす。

5 エンジン ASSY 取りはずし (4WD)

注意 エンジン ASSY 脱着は、フロントディファレンシャルを取り
はずした後、トランスミッション付で取りはずす。

- (1) エンジン ASSY 取りはずしに必要な各部品、各ホース類および
各ワイヤハーネスを切り離す。
- (2) フロントディファレンシャルキャリアを取りはずす。
- (3) スチフナープレート RH, LH およびインシュレーターを取りは
ずす。



- (4) エンジンサドルを図のようにセットする。

注意 ・エンジンサドルが水平にセットできるように、木片およびス
ペーサーで調整する。

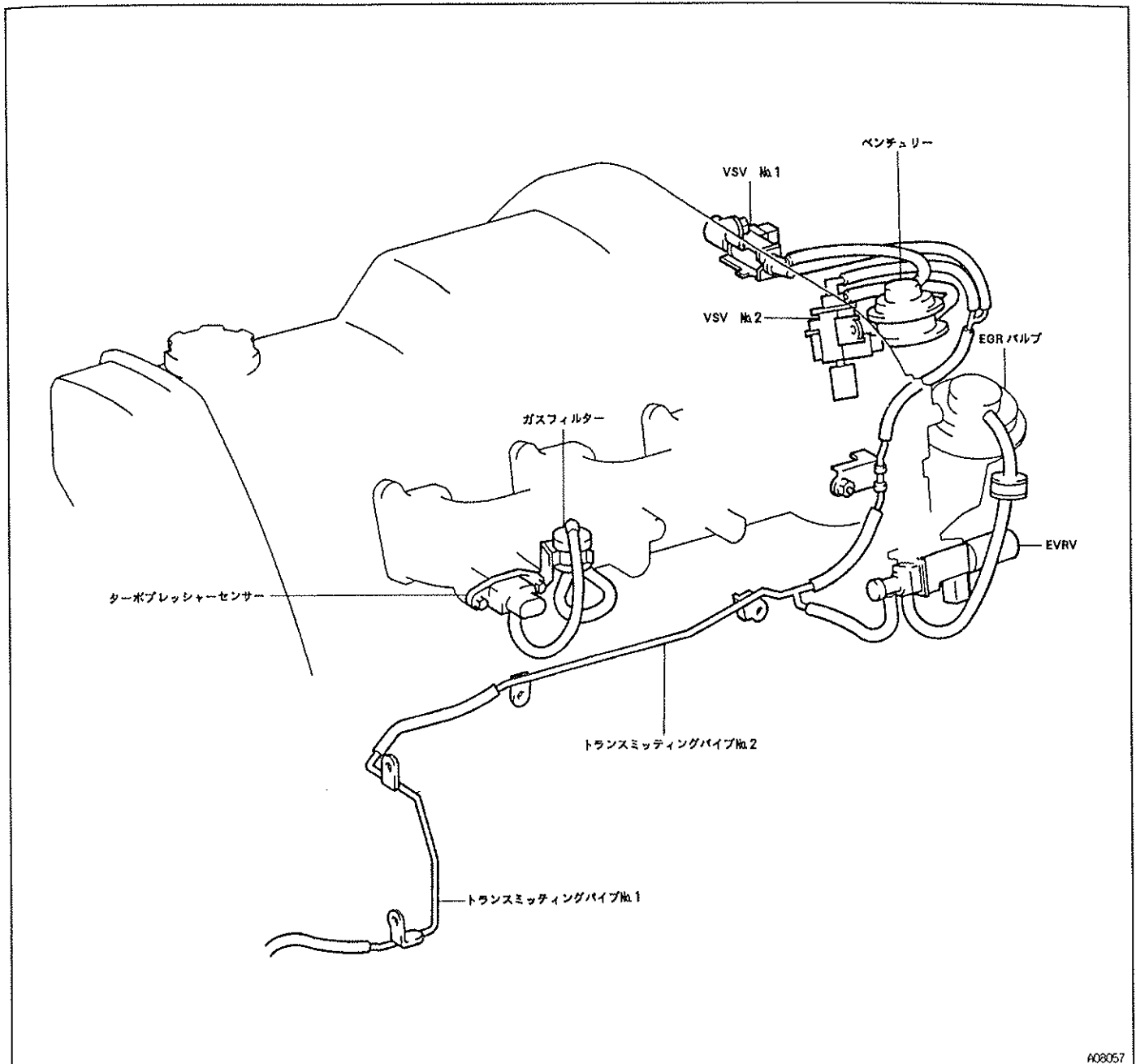
・トランスミッションとエンジンサドルをロープなどで固定す
る。

- (5) エンジンマウンティングインシュレーター RH, LH を取りはず
す。
- (6) リヤマウンティングをボデーから切り離し、車両後方へずらし
ながらエンジン ASSY W/トランスミッションを取りはずす。

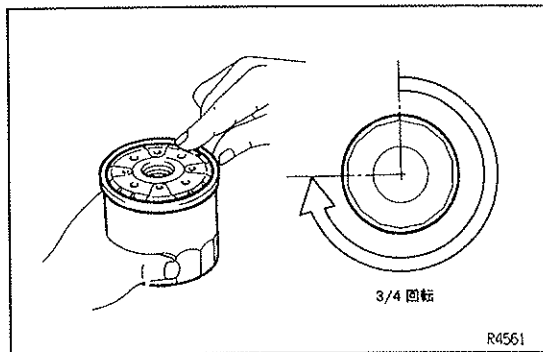
バキューム配管

配管図

2



分解作業上の留意点



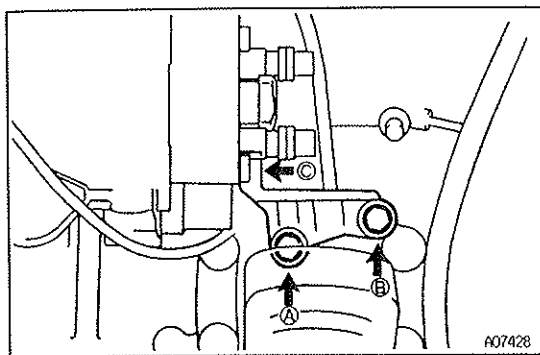
1 オイルフィルター取り付け

- (1) エンジン側の取り付け面の汚れ、異物を取り除く。
- (2) 新品のオイルフィルターの O リングに少量のエンジンオイルを塗布する。
- (3) O リングが取り付け面にあたるまで手で取り付ける。
- (4) O リングが取り付け面にあたってから、さらに 3/4 回転 SST で締め付ける。

SST 09228-10001

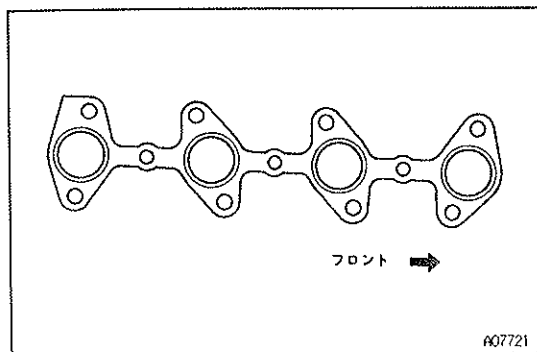
2 インジェクションポンプステー取り付け

- (1) ポンプステーをボルト ④、⑤ で仮付けする。
注意 ポンプステーがシリンダーブロックに密着した状態になっていることを確認する。
- (2) インジェクションポンプ取り付けボルト ③ を取り付ける。
 $T = 320 \text{ kg} \cdot \text{cm}$
- (3) ボルト ④、⑤ を本締めする。
 $T = 210 \text{ kg} \cdot \text{cm}$



3 エキゾーストマニホールド取り付け

- (1) ガasket の方向性に注意して取り付ける。



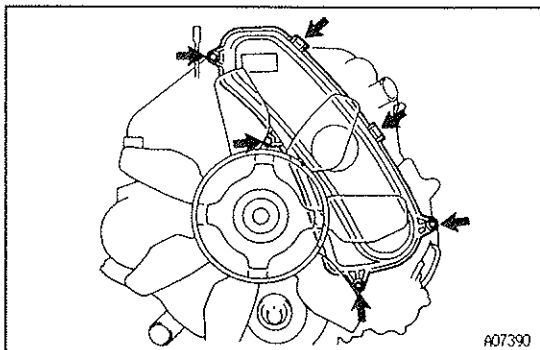
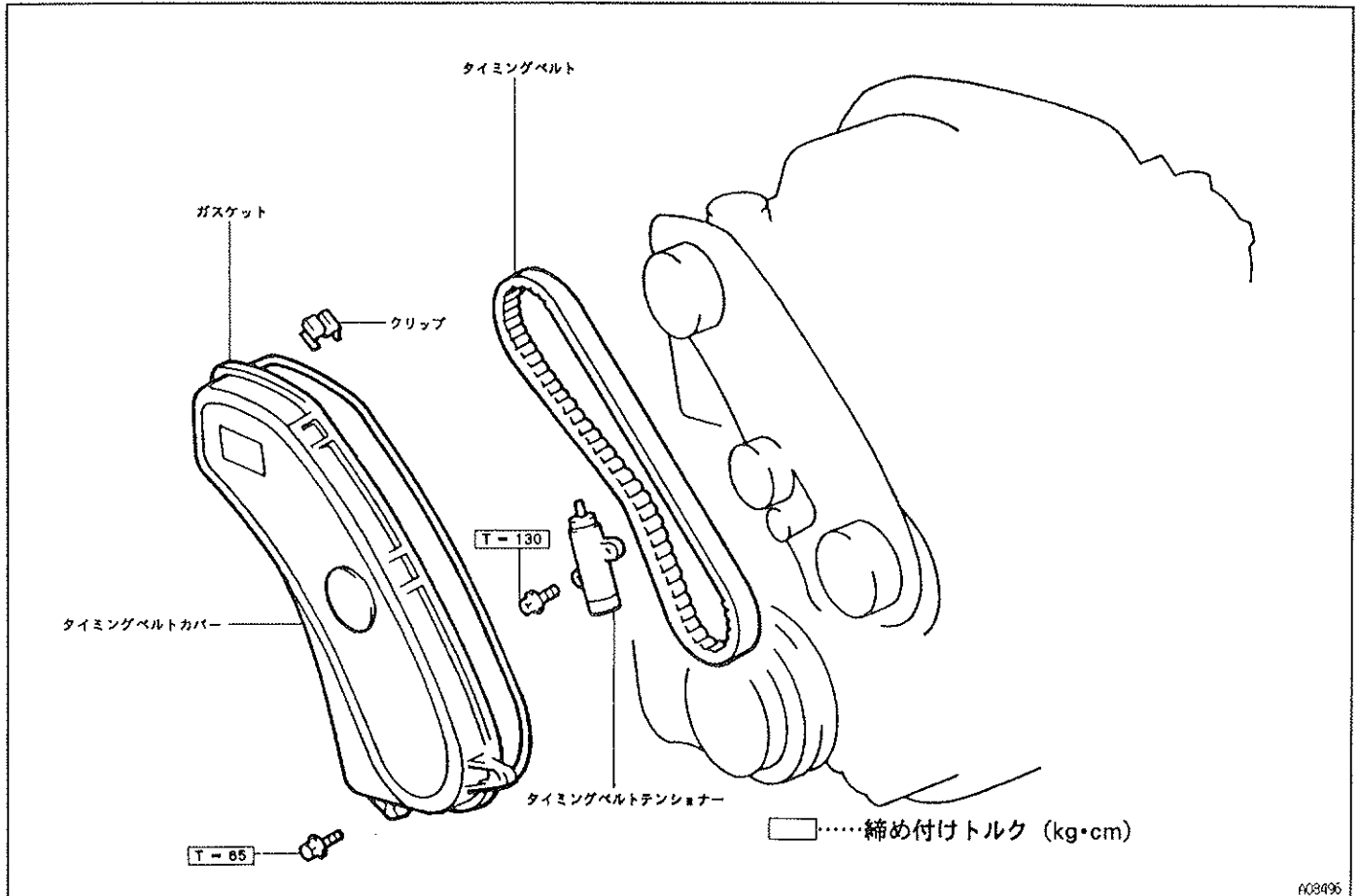
4 グロープラグ取り付け

- (1) ディープソケットレンチ (12mm) を使用して、グロープラグを取り付ける。
 $T = 130 \text{ kg} \cdot \text{cm}$
注意 発熱部にセラミックを使用しているため、1 度でも落としたり衝撃を与えたグロープラグは (新品部品でも) 使用しない。
 (外觀上傷などがなく抵抗値が正常でも再使用は不可)
- (2) トヨタ電気カルテスターを使用して、端子間の抵抗を測定する。
 参考値 約 0.65Ω (20°C)
 抵抗値が 1Ω を超える場合は、新品のグロープラグと交換する。

タイミングベルト

脱着構成図

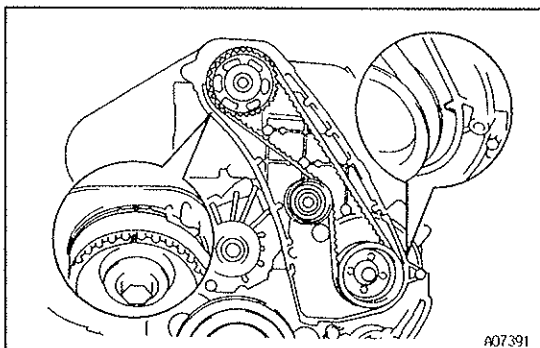
2



タイミングベルト取りはずし

1 タイミングベルトカバー取りはずし

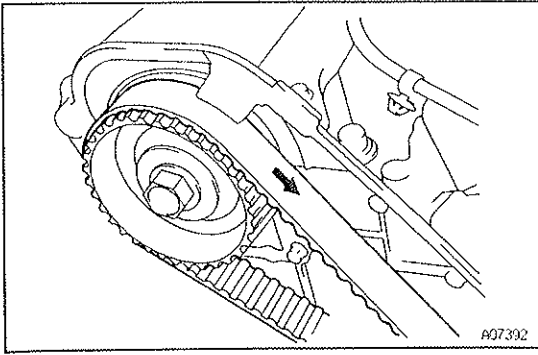
- (1) ボルト4本およびクリップ2個をはずし、タイミングベルトカバーおよびガスケットを取りはずす。



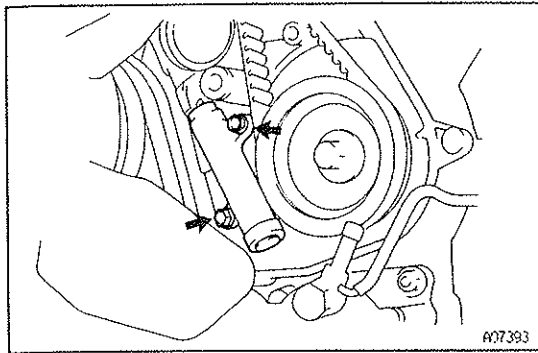
2 タイミングベルト取りはずし

- (1) クランクシャフトを正回転方向に回転させ、各タイミングプーリーの合わせマーク（TDC マーク）に合わせる。

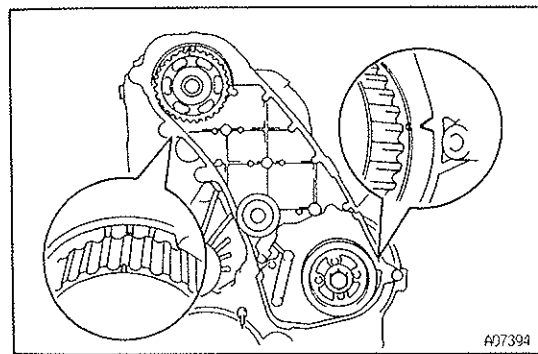
注意 1 KZ エンジンの TDC マークは、No.4 シリンダーが圧縮上死点になっている。



- (2) 取り付け時にベルトの回転方向を間違えないように、タイミングベルト背面にチョークでマークを付ける。



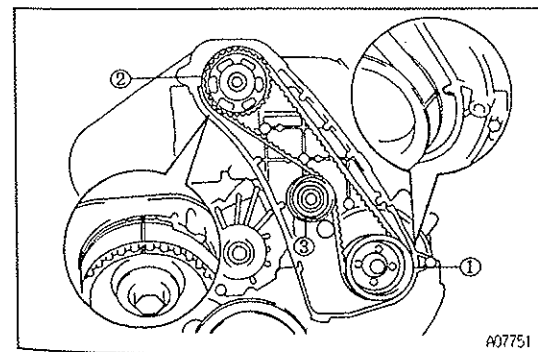
- (3) ボルト2本を均等にゆるめ、テンショナーを取りはずす。
注意 ・テンショナーを取りはずした場合、ロッドが伸びた状態では取り付けてはならない。
 ・タイミングベルトアイドラーは取りはずさない。
 (4) タイミングベルトを取りはずす。



タイミングベルト取り付け

1 タイミングベルト取り付け

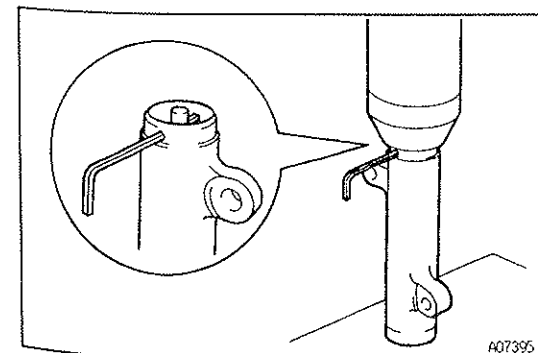
- (1) 図のように各タイミングプーリーの合わせマークを合わせる。



- (2) タイミングベルトの回転方向を確認して、タイミングベルト背面の白線が、プーリーの切り欠きマークと合うように次の順序でベルトを取り付ける。

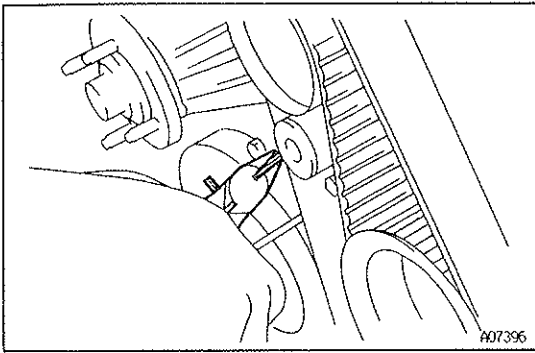
- ① カムシャフトタイミングプーリーNo.2
- ② カムシャフトタイミングプーリーNo.1
- ③ タイミングベルトアイドラー

注意 タイミングベルト背面の白線が消えて見えない場合は、プーリーの切り欠きマークだけで合わせる。



- (3) タイミングベルトテンショナーをまっすぐプレスにセットする。
注意 ロッド先端が傷つかないようにウエスなどで保護する。
 (4) テンショナーのロッドをできる限りゆっくり圧縮し、ロッドとシリンダーの穴を合わせ、二面幅 1.27mm の六角棒レンチをロッドおよびシリンダーに貫通させる。
注意 ロッドの荷重は 1000kg 以上加えない。
参考 ロッドとシリンダーの穴を合わせる場合、プレスで圧縮する過程で六角棒レンチをシリンダーに挿入し、ロッドの穴を確認する。

2



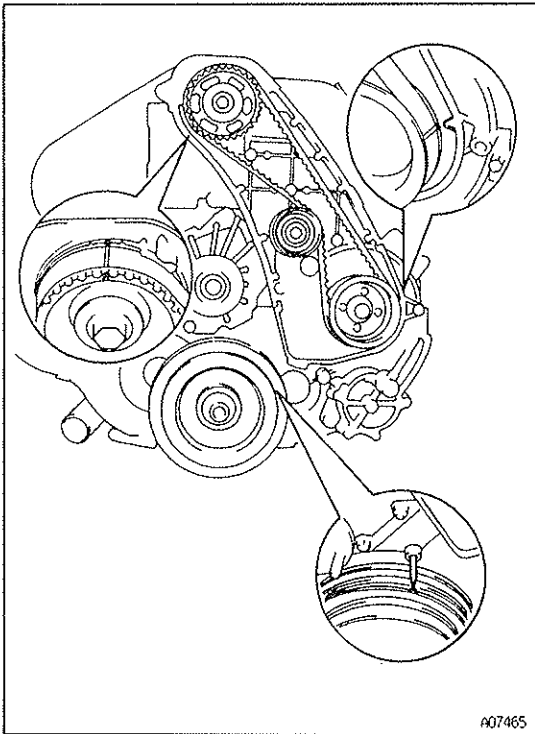
(5) 圧縮をゆるめ、タイミングベルトテンショナーをプレスから取りはずす。

(6) 六角棒レンチの取り付けいたタイミングベルトテンショナーをボルト2本で均等に締め付ける。

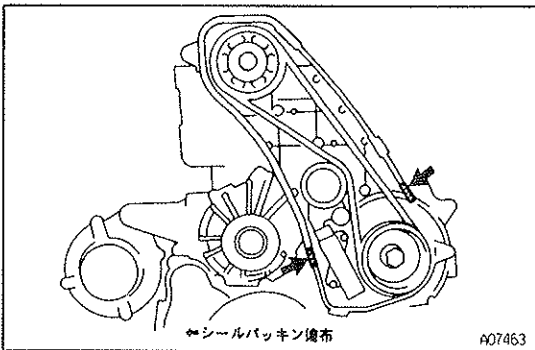
$T = 130 \text{ kg} \cdot \text{cm}$

注意 テンショナーが傾いて取り付けると正常に機能しないので、ボルトは必ず均等に締め付ける。

(7) テンショナーのロッド固定用六角棒レンチを引き抜いて取りはずす。



(8) クランクシャフトを正回転方向に回転させ、No.4 シリンダーを圧縮上死点にし、各プーリーの合わせマーク (TDC マーク) が合っていることを確認する。



2 タイミングベルトカバー取り付け

(1) タイミングベルトカバーにガスケットを取り付ける。

(2) 図の位置を脱脂する。

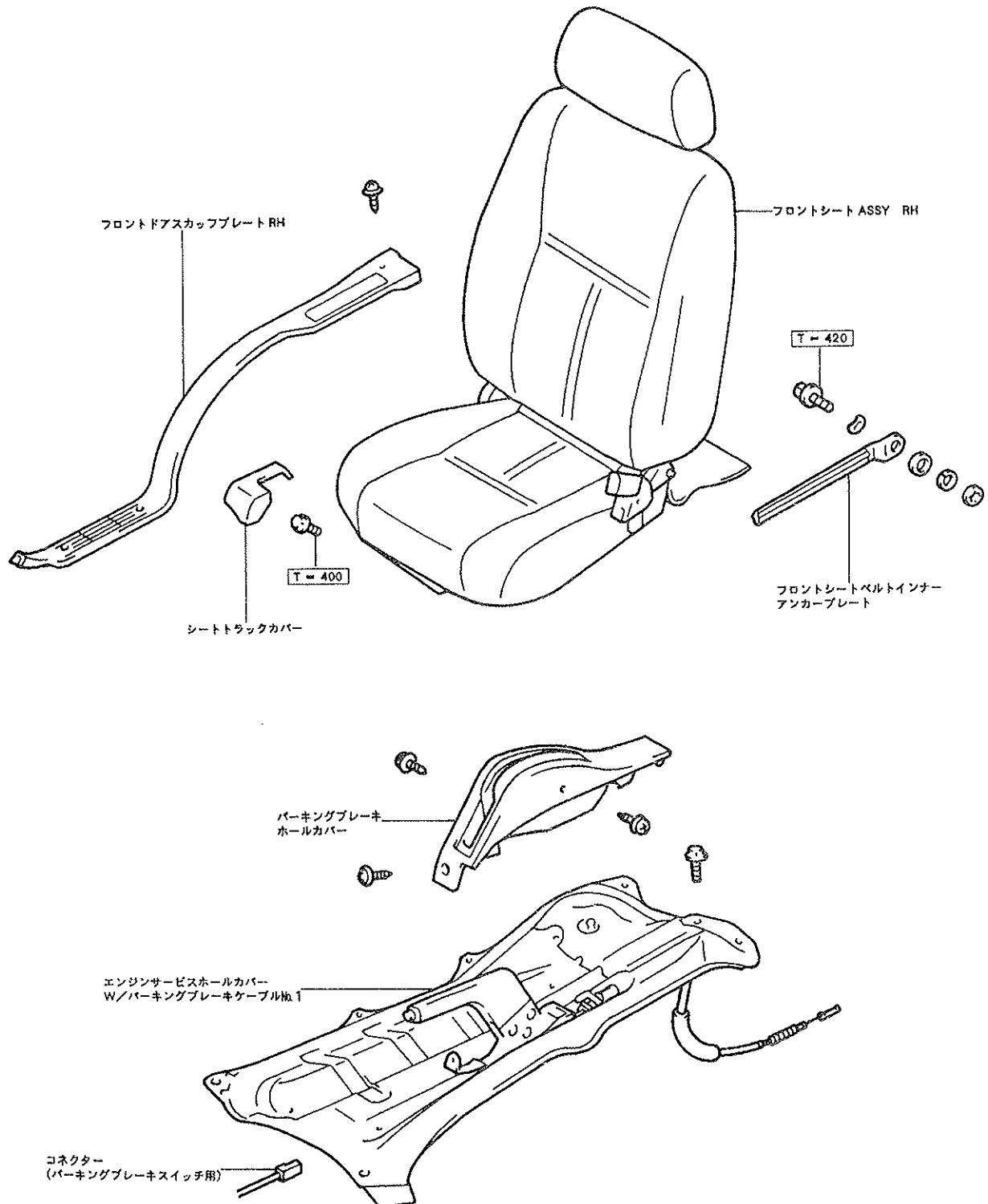
(3) 図の位置にシーラパッキンブラックを塗布し、5分以内にタイミングベルトカバーを取り付ける。

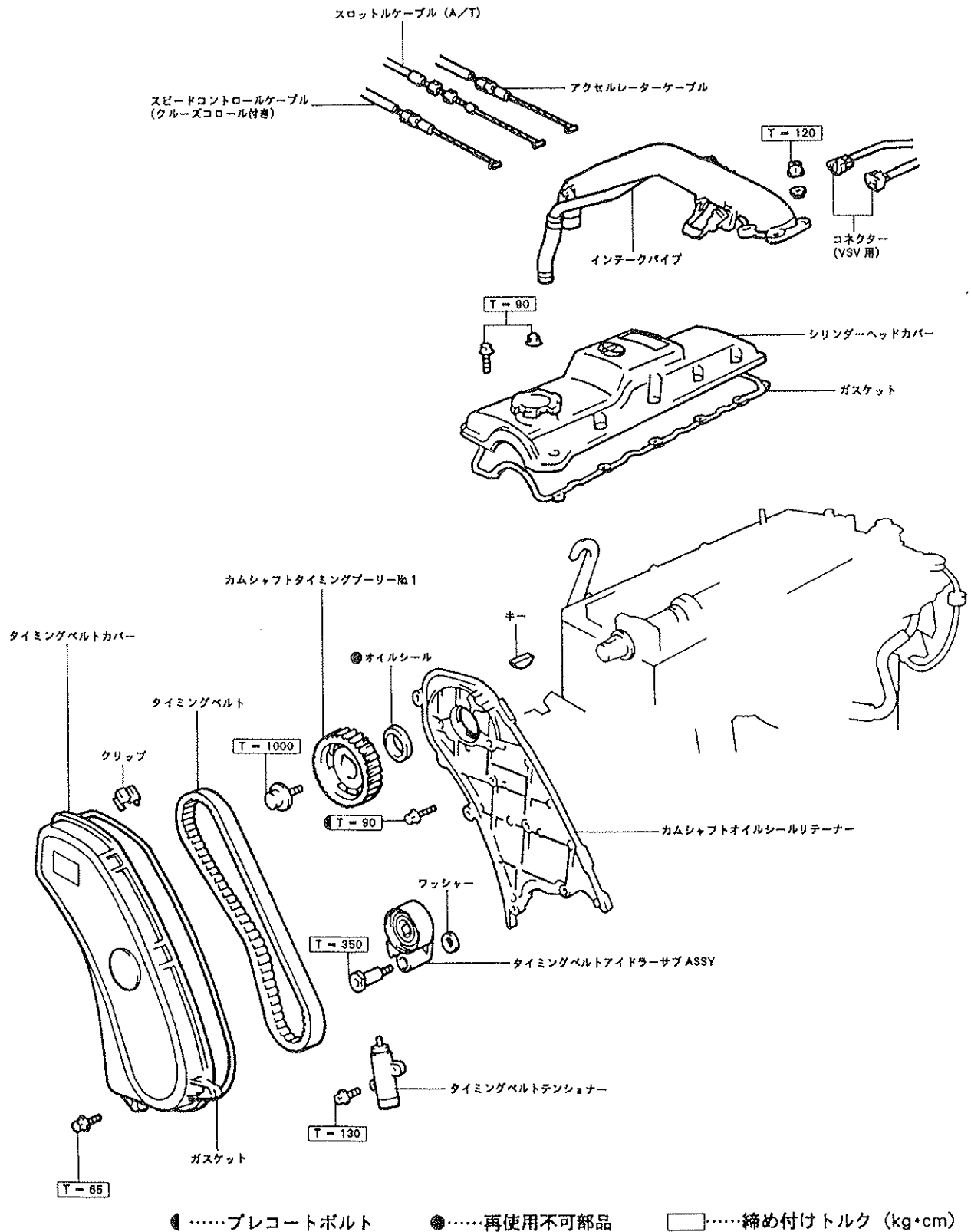
$T = 65 \text{ kg} \cdot \text{cm}$

カムシャフトオイルシール

脱着構成図

2





カムシャフトオイルシール交換

1 エンジンサービスホールサブカバー取りはずし

(「エンジン調整」-「エンジンサービスホールサブカバー」参照)

2 タイミングベルト取りはずし

(「エンジン本体」-「タイミングベルト」参照)

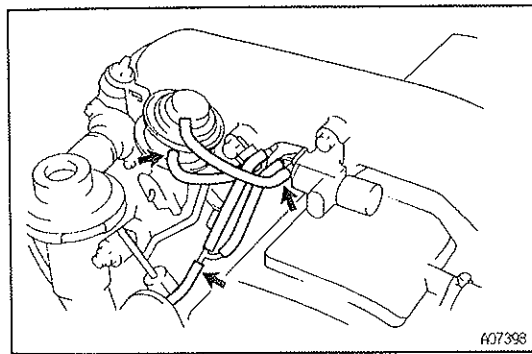
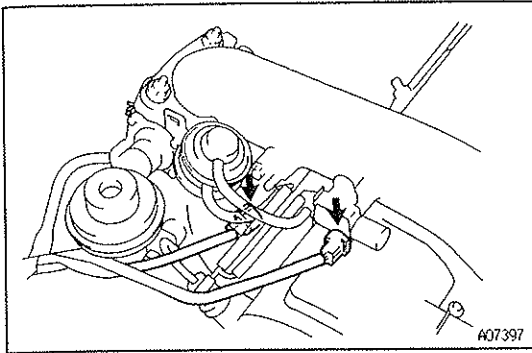
3 アクセルレーターケーブル切り離し

4 スロットルケーブル切り離し (A/T)

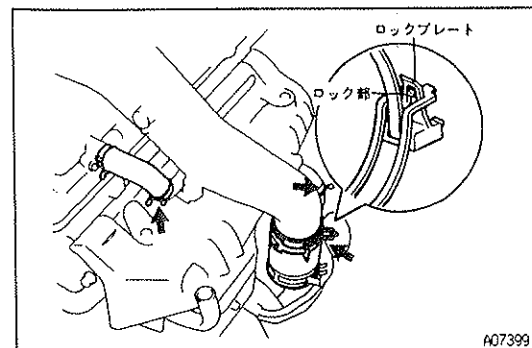
5 スピードコントロールケーブル切り離し (クルーズコントロール付き)

6 インテークパイプ取りはずし

(1) 各 VSV のコネクターを切り離す。



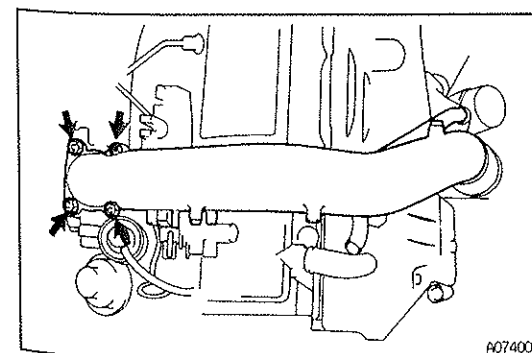
(2) 各 VSV のバキュームホースを切り離す。



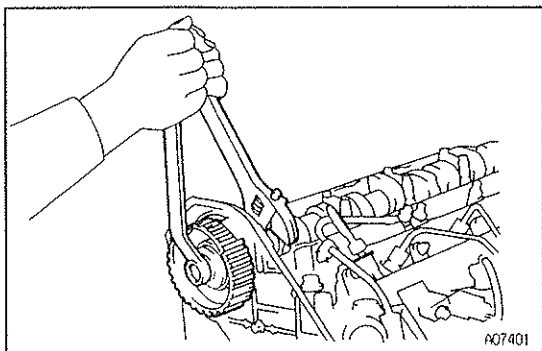
(3) ベンチレーションホース 2 本を切り離す。

(4) エアホース No. 2 のクランプをプライヤーでひろげ、ロック部にロックプレートを引っ掛ける。

注意 ロック部にロックプレートが確実に掛かっていることを確認する。



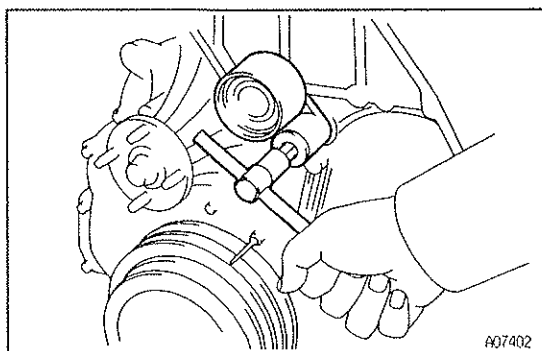
(5) ナットおよびシールワッシャー 4 個をはずし、インテークパイプを取りはずす。



7 シリンダーヘッドカバー取りはずし

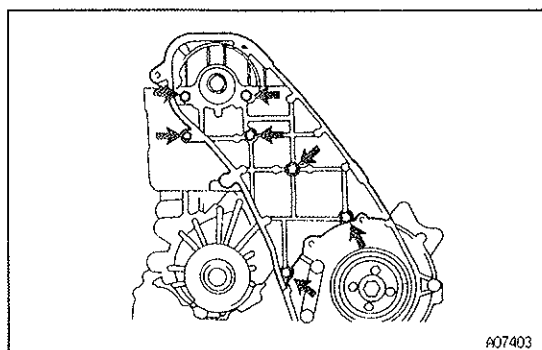
8 カムシャフトタイミングプーリーNo.1 取りはずし

- (1) カムシャフトの六角部をモンキーレンチで固定し、カムシャフトタイミングプーリーNo.1 ボルトを取りはずす。
- (2) タイミングプーリーNo.1 を取りはずす。
- (3) キーを取りはずす。



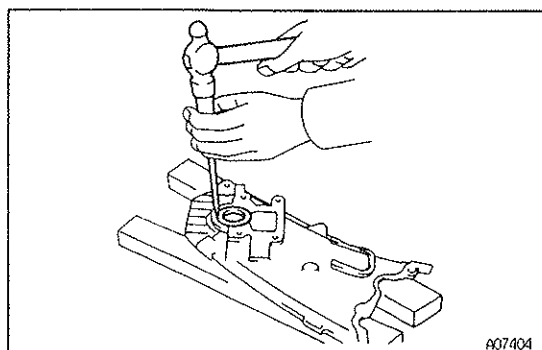
9 タイミングベルトアイドラーサブ ASSY 取りはずし

- (1) ソケットヘキサゴンレンチ 10 を使用して、アイドラーサブ ASSY を取りはずす。



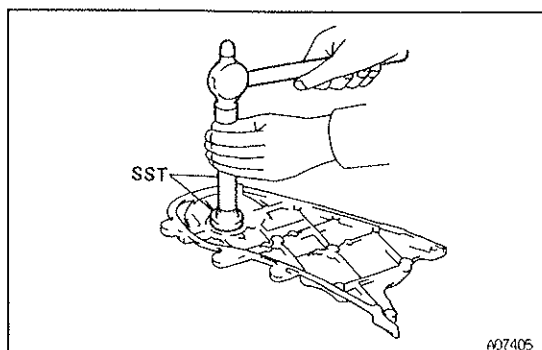
10 カムシャフトオイルシールリテーナー取りはずし

- (1) ボルト7本をはずし、リテーナーを取りはずす。



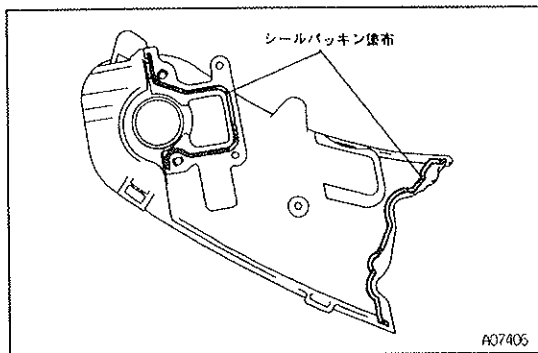
11 カムシャフトオイルシール取りはずし

- (1) ⊖ドライバーを使用して、オイルシールをフロント側へ打ち抜く。



12 カムシャフトオイルシール取り付け

- (1) SSTを使用して、新品のオイルシールをリテーナー端面と面一になるように打ち込む。
S S T 09631-32010 09608-05010
- (2) オイルシールのリップ部に少量のキャッスル・MP グリースNo.2 を塗布する。

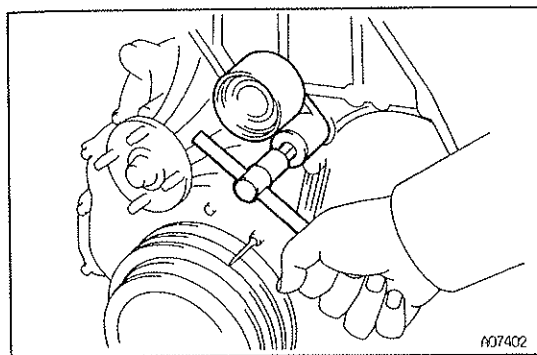


13 カムシャフトオイルシールリテーナー取り付け

- (1) 図の箇所を脱脂する。
- (2) 図の箇所にシールパッキンブラックを塗布し、5分以内にリテーナーをセットする。
- (3) ボルト先端より2〜3ねじ山にアドヘシブ1324を塗布し、ボルト7本を取り付ける。

T=90kg・cm

注意 組み付け後、2時間以内はエンジンを始動しないで放置する。

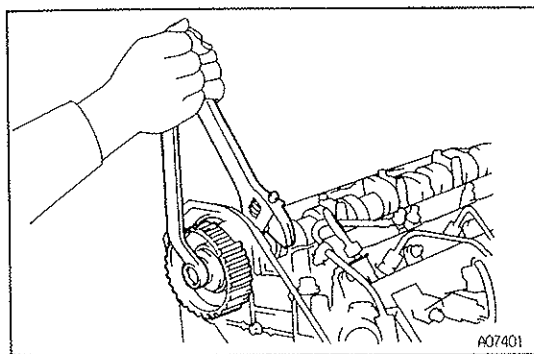


14 タイミングベルトアイドラーサブ ASSY 取り付け

- (1) ワッシャーを介して、ソケットヘキサゴンレンチ10を使用し、アイドラーサブ ASSY を取り付ける。

T=350kg・cm

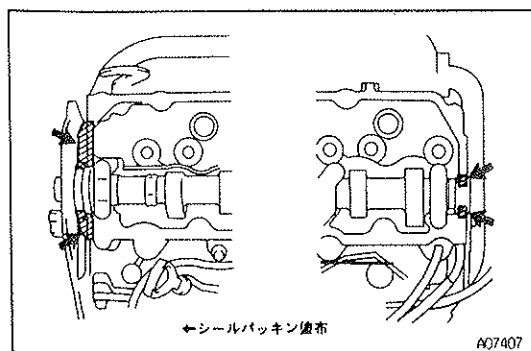
- 注意**
- ・ワッシャーの両面に傷または変形がないことを確認する。傷または変形がある場合は、新品のワッシャーと交換する。
 - ・締め付けた後にアイドラーが軽く動く事を確認する。動きが悪い場合は、新品のワッシャーと交換する。



15 カムシャフトタイミングプーリーNo.1 取り付け

- (1) カムシャフトにキーを取り付ける。
- (2) タイミングプーリーNo.1を取り付ける。
- (3) カムシャフトの六角部をモンキーレンチで固定し、カムシャフトタイミングプーリーNo.1取り付けボルトを締め付ける。

T=1000kg・cm

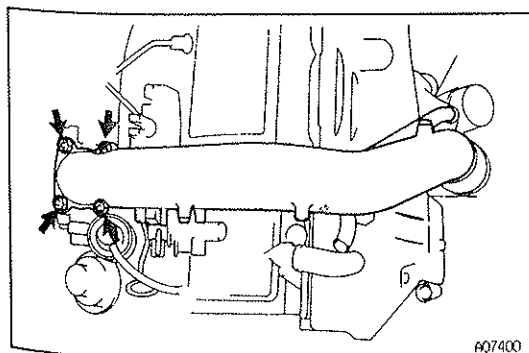


16 シリンダーヘッドカバー取り付け

- (1) 図の位置を脱脂する。
- (2) 図の位置にシールパッキンブラックを塗布し、5分以内にシリンダーヘッドカバーを取り付ける。

T=90kg・cm

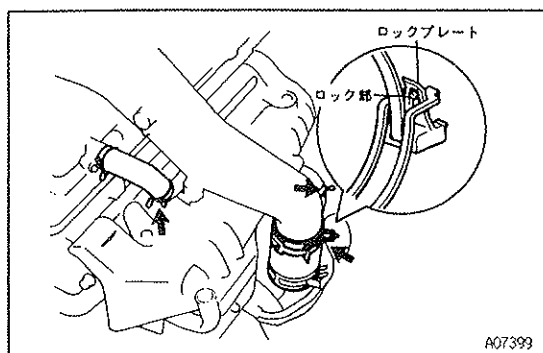
注意 組み付け後、2時間以内はエンジンを始動しないで放置する。



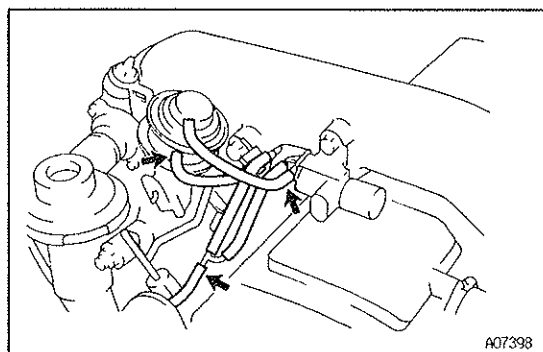
17 インテークパイプ取り付け

- (1) インテークパイプをエアホースNo.2に差し込みながら、シールワッシャーおよびナット4個で取り付ける。

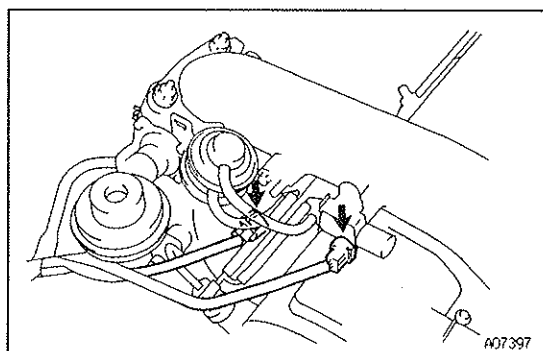
T=120kg・cm



- (2) エアホースNo.2のクランプをプライヤーでひろげる。
- (3) ロックプレートの先端を指で押さえロックを解除する。
注意 ・バネ力が強いのでプライヤーがはずれないようにする。
 ・ホースに対して直角に取り付ける。
- (4) ベンチレーションホース2本を取り付ける。



- (5) 各 VSV のバキュームホースを取り付ける。



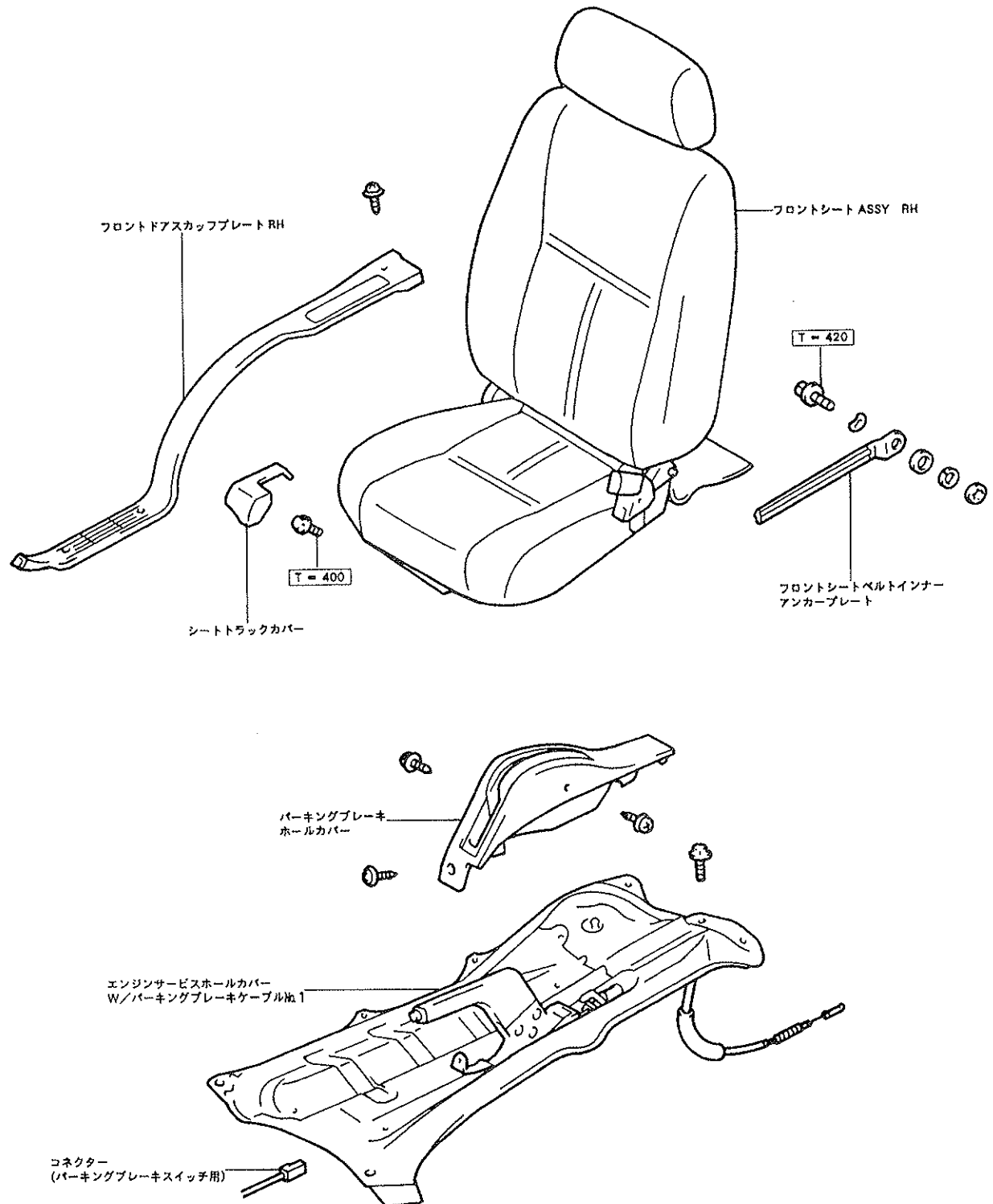
- (6) 各 VSV のコネクターを接続する。

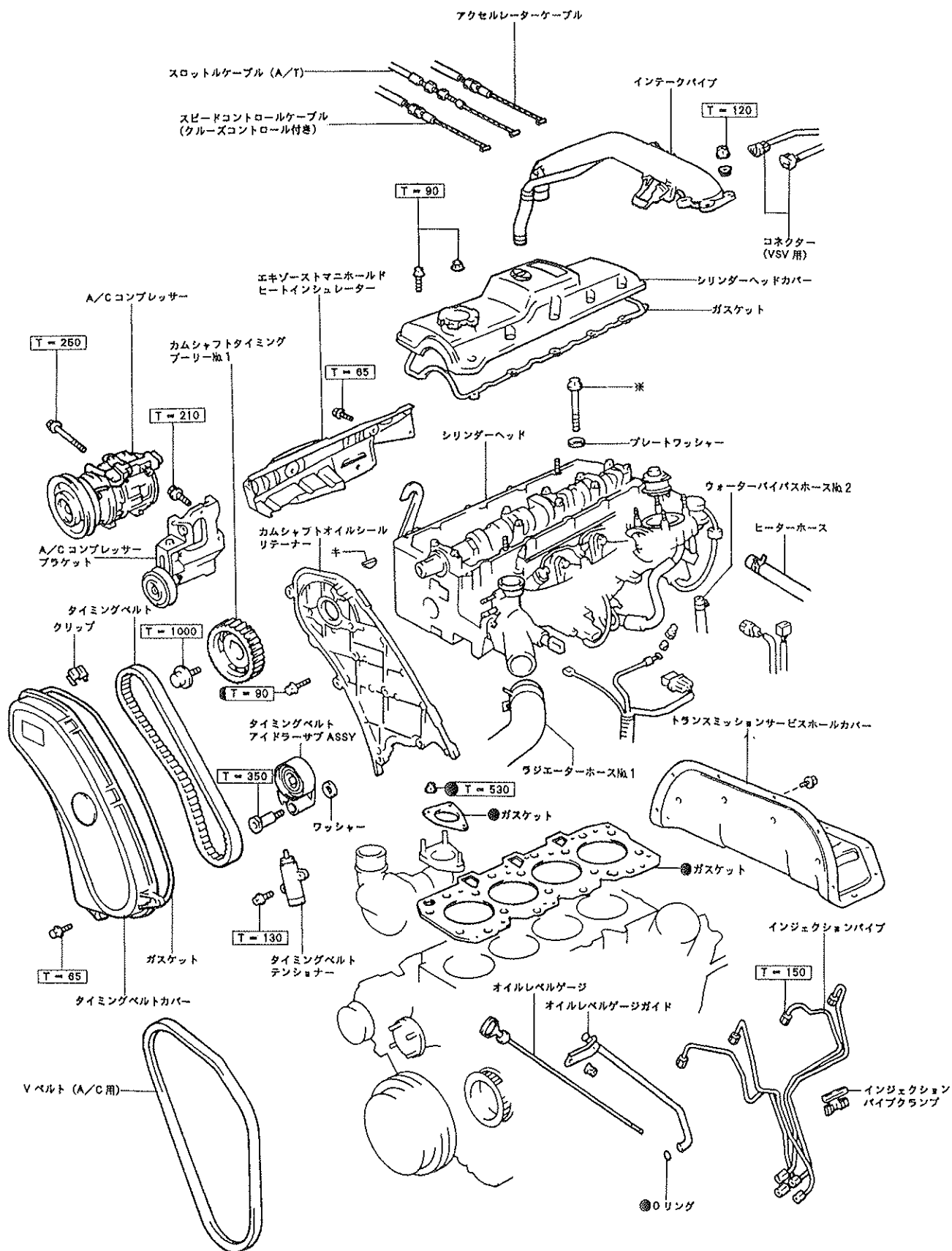
- 18 アクセルレーターケーブル取り付け
- 19 スロットルケーブル取り付け (A/T)
- 20 スピードコントロールケーブル取り付け (クルーズコントロール付き)
- 21 タイミングベルト取り付け
(「エンジン本体」—「タイミングベルト」参照)
- 22 エンジンサービスホールサブカバー取り付け
(「エンジン調整」—「エンジンサービスホールサブカバー」参照)

シリンダーヘッドガスケット

脱着構成図

2





※……塑性域締め付け法

● ……ブレコートボルト

●……再使用不可部品

□.....締め付けトルク (kg・cm)

シリンダーヘッドガスケット取りはずし

1 冷却水抜き取り

2 エンジンサービスホールサブカバー取りはずし

(「エンジン調整」-「エンジンサービスホールサブカバー」参照)

3 トランスミッションサービスホールカバー取りはずし

4 A/Cコンプレッサー取りはずし

- (1) ボルト4本をはずして、A/Cコンプレッサーを取りはずし、針金などで吊っておく。

〈参考〉 A/Cホースは切り離さない。

5 A/Cコンプレッサーブラケット取りはずし

6 アクセルレーターケーブル切り離し

7 スロットルケーブル切り離し (A/T)

8 スピードコントロールケーブル切り離し (クルーズコントロール付き)

9 インテークパイプ取りはずし

- (1) 各VSVのコネクターを切り離す。

- (2) 各VSVのパキュームホースを切り離す。

- (3) ベンチレーションホース2本を切り離す。

- (4) エアホースNo.2のクランプをプライヤーでひろげ、ロック部にロックプレートを引っ掛ける。

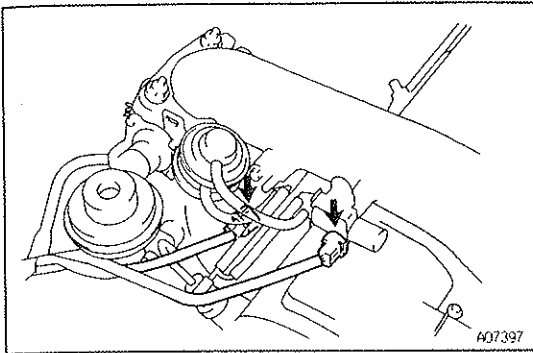
注意 ロック部にロックプレートが確実に掛かっていることを確認する。

- (5) ナットおよびシールワッシャー4個をはずし、インテークパイプを取りはずす。

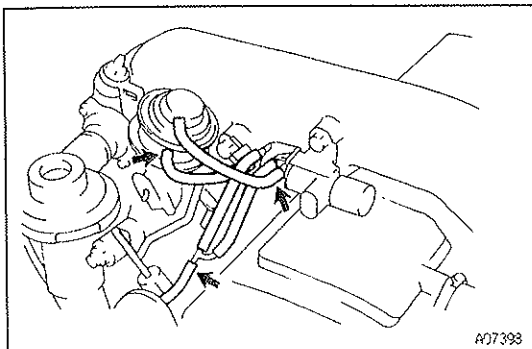
10 シリンダーヘッドカバー取りはずし

11 タイミングベルト取りはずし

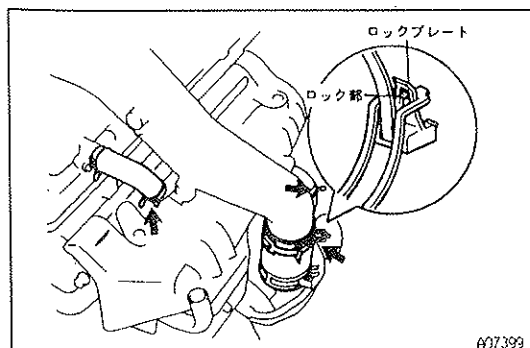
(「エンジン本体」-「タイミングベルト」参照)



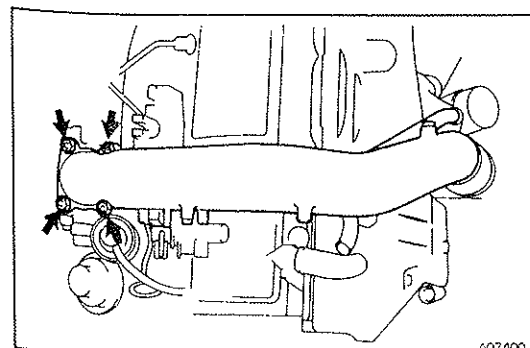
A07397



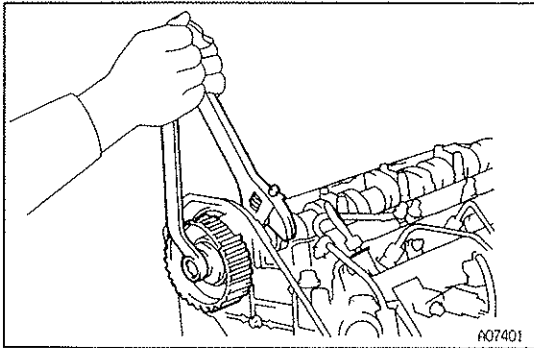
A07398



A07399

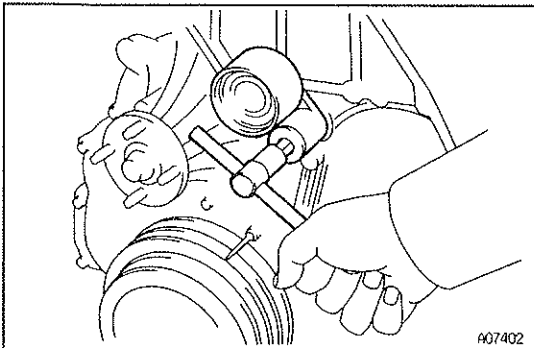


A07400



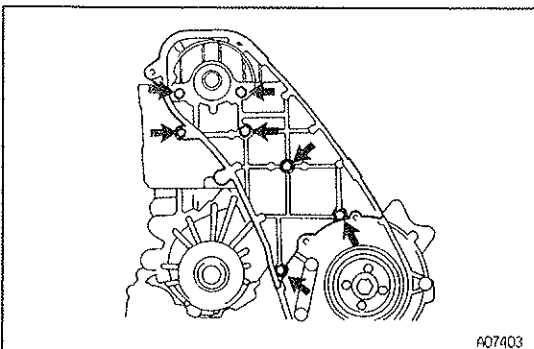
12 カムシャフトタイミングプーリーNo.1 取りはずし

- (1) カムシャフトの六角部をモンキーレンチで固定し、カムシャフトタイミングプーリーNo.1 ボルトを取りはずす。
- (2) タイミングプーリーNo.1 を取りはずす。
- (3) キーを取りはずす。



13 タイミングベルトアイドラーサブ ASSY 取りはずし

- (1) ソケットヘキサゴンレンチ 10 を使用して、アイドラーサブ ASSY を取りはずす。



14 カムシャフトオイルシールリテーナー取りはずし

- (1) ボルト 7 本をはずし、リテーナーを取りはずす。

15 オイルレベルゲージおよびオイルレベルゲージガイド取りはずし

16 インジェクションパイプ取りはずし

17 各コネクターおよびワイヤハーネス切り離し

- (1) 各コネクターおよびワイヤハーネスを切り離す。

- ① ターボプレッシャーセンサー
- ② スロットルポジションセンサー
- ③ EVRV
- ④ 水温ゲージ
- ⑤ グロープラグレジスター

18 各バキュームホース切り離し

- (1) 各バキュームホースを切り離す。

- ① ターボプレッシャーセンサー
- ② EVRV

19 エキゾーストマニホールドヒートインシュレーターおよびターボインシュレーター取りはずし

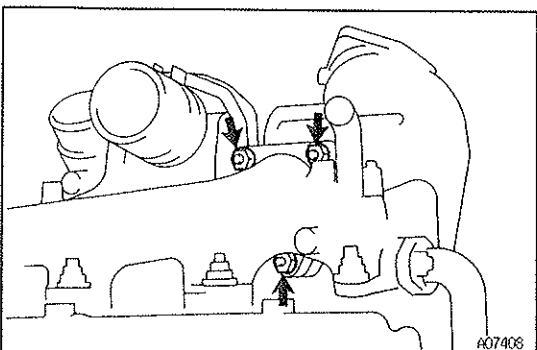
20 ラジエーターホースNo.1 切り離し

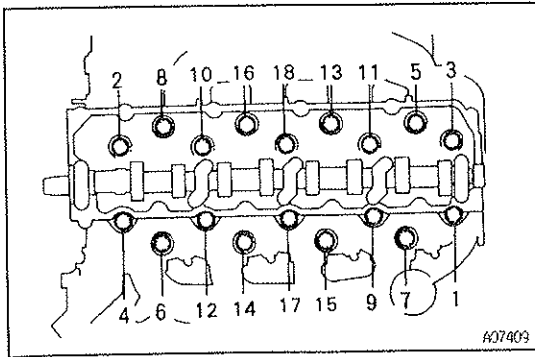
21 ヒーターホース切り離し

22 ウォーターバイパスホースNo.2 切り離し

23 シリンダーヘッドガスケット取りはずし

- (1) ナット 3 個をはずし、ターボチャージャーからエキゾーストマニホールドを切り離す。





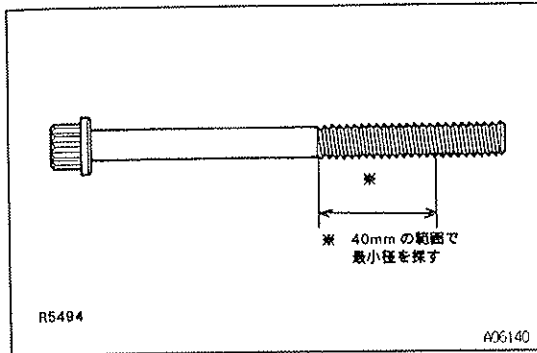
- (2) シリンダーヘッドボルトを図の順序で約 90°ずつ 2～3 回に分けて取りはずす。
- (3) シリンダーヘッドをはずし、シリンダーヘッドガスケットおよびターボチャージャーガスケットを取りはずす。

2

シリンダーヘッドガスケット取り付け

1 シリンダーヘッドボルト点検

- (1) シリンダーヘッドボルトの図の位置の外径をノギスで測定する。
基準値 11.80～12.00mm
限度 11.60mm
限度値以下の場合、シリンダーヘッドボルトを交換する。

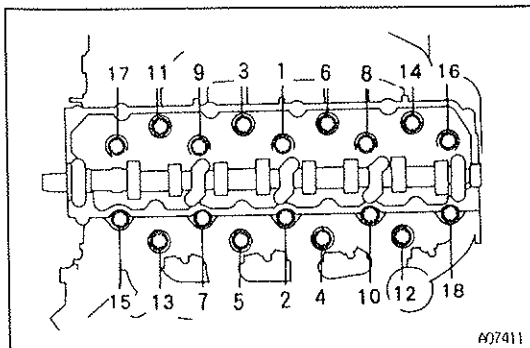
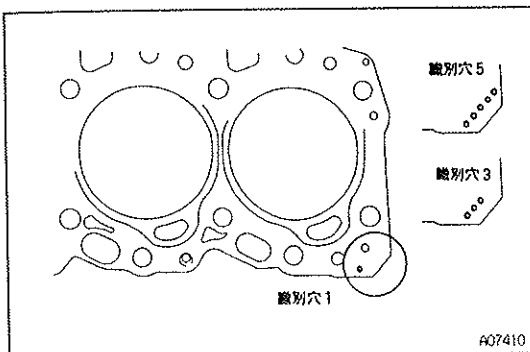


2 シリンダーヘッド取り付け

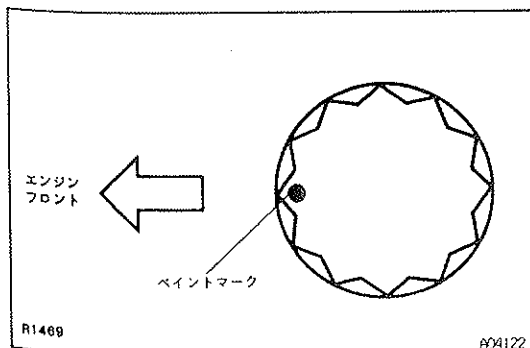
〈参考〉 シリンダーヘッドガスケットは、同じ厚さのガスケット（切り欠き数により識別する）を組み付ける。ただし、工場出荷状態において識別穴が 2, 4 の場合があるため、2 は 3 を、4 は 5 を組み付ける。

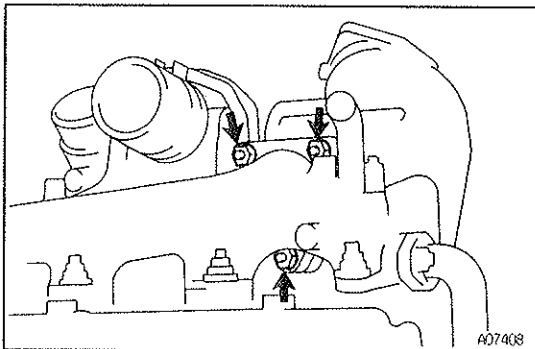
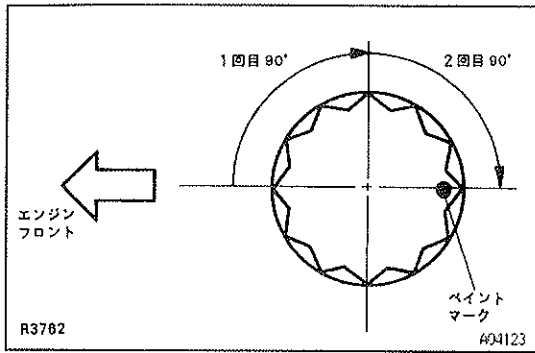
- (1) 新品のヘッドガスケットおよびターボチャージャーガスケットを介して、シリンダーヘッドをシリンダーブロックに取り付ける。
- (2) プレートワッシャーを介して、シリンダーヘッドボルトのねじ部および座面に少量のエンジンオイルを塗布する。
- (3) 図の順序でシリンダーヘッドボルトを数回に分けて仮締めした後、規定トルクで締め付ける。

T=400kg・cm



- (4) ヘッドボルトの頭のエンジンフロント側にペイントマークを付ける。





- (5) ペイントマークを目安にして、各ヘッドボルトを(3)の順序で 90° 締め付ける。
- (6) さらに各ヘッドボルトを 90° 増し締めする。
- (7) ペイントマークがエンジンリヤ側にあることを確認する。

- (8) エキゾーストマニホールドとターボチャージャーを新品のナット 3 個で締め付ける。

$T=530\text{kg}\cdot\text{cm}$

3 エキゾーストマニホールドヒートインシュレーターおよびターボインシュレーター取り付け

$T=65\text{kg}\cdot\text{cm}$

4 ウォーターバイパスホースNo. 2 取り付け

5 ヒーターホース取り付け

6 ラジエーターホースNo. 1 取り付け

7 各バキュームホース取り付け

- (1) 各バキュームホースを取り付ける。

① ターボプレッシャーセンサー

② EVRV

8 各コネクターおよびワイヤハーネス接続

- (1) 各コネクターおよびワイヤハーネスを接続する。

① ターボプレッシャーセンサー

② スロットルポジションセンサー

③ EVRV

④ 水温ゲージ

⑤ グローブラグレジスター

9 インジェクションパイプ取り付け

- (1) ノズル側フレアナットは仮付け、ポンプ側は締め付ける。

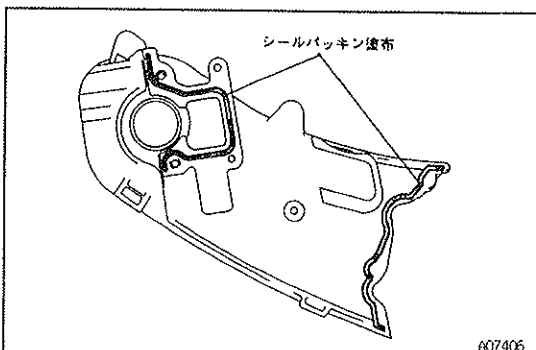
$T=150\text{kg}\cdot\text{cm}$

- (2) インジェクションパイプにクランプ 2 個を取り付ける。

10 オイルレベルゲージおよびオイルレベルゲージガイド取り付け

- (1) 新品の O リングを取り付け、オイルレベルゲージガイドを下に押さえてインテークマニホールドに取り付ける。

$T=290\text{kg}\cdot\text{cm}$

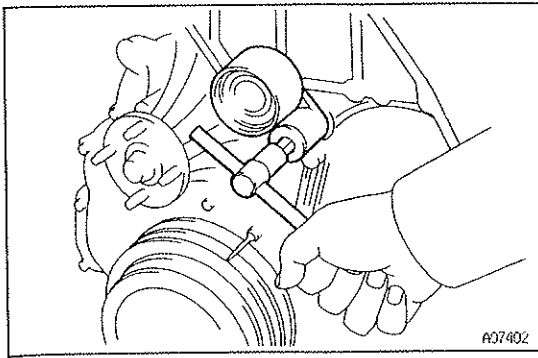


11 カムシャフトオイルシールリテーナー取り付け

- (1) 図の箇所を脱脂する。
- (2) 図の箇所にシールパッキンブラックを塗布し、5 分以内にリテーナーをセットする。
- (3) ボルトの先端より 2~3 ねじ山にアドヘシブ 1324 を塗布し、ボルト 7 本を取り付ける。

$T=90\text{kg}\cdot\text{cm}$

 組み付け後、2 時間以内はエンジンを始動しないで放置する。



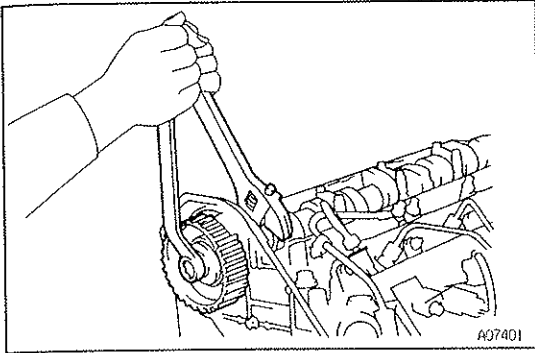
12 タイミングベルトアイドラサブ ASSY 取り付け

- (1) ワッシャーを介して、ソケットヘキサゴンレンチ 10 を使用し、アイドラサブ ASSY を取り付ける。

T=350kg・cm

- 注意** ・ワッシャーの両面に傷または変形がないことを確認する。傷または変形がある場合は、新品のワッシャーと交換する。
・締め付け後にアイドラが軽く動くことを確認する。動きが悪い場合は、新品のワッシャーと交換する。

2



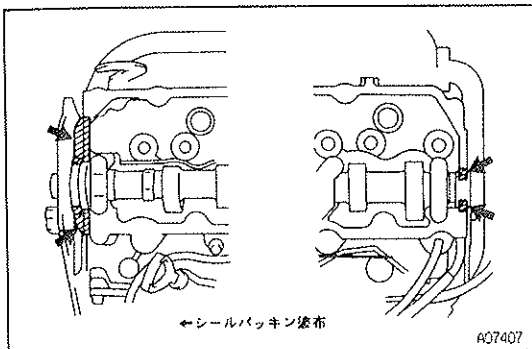
13 カムシャフトタイミングプーリーNo.1 取り付け

- (1) カムシャフトにキーを取り付ける。
(2) タイミングプーリーNo.1 を取り付ける。
(3) カムシャフトの六角部をモンキーレンチで固定し、カムシャフトタイミングプーリーNo.1 取り付けボルトを締め付ける。

T=1000kg・cm

14 タイミングベルト取り付け

(「エンジン本体」-「タイミングベルト」参照)



15 シリンダーヘッドカバー取り付け

- (1) 図の箇所を脱脂する。
(2) 図の位置にシールパッキンプラグを塗布し、5分以内にシリンダーヘッドカバーを取り付ける。

T=90kg・cm

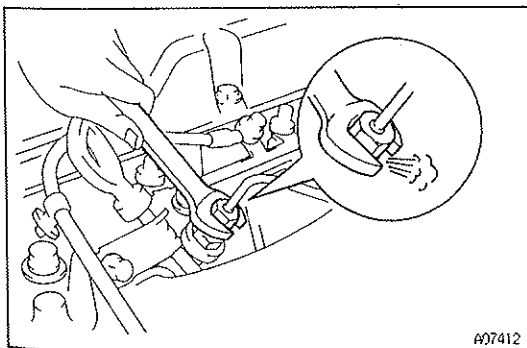
- 注意** 組み付け後、2時間以内はエンジンを始動しないで放置する。

16 A/Cコンプレッサーブラケット取り付け

T=210kg・cm

17 A/Cコンプレッサー取り付け

T=250kg・cm

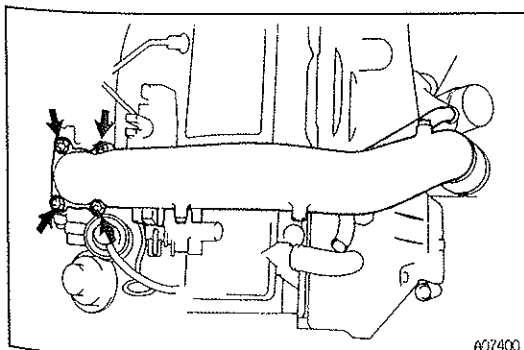


18 インジェクションパイプエア抜き

- (1) フューエルフィルター上部のプライミングポンプを上下に動かし、インジェクションポンプおよび燃料系統に燃料を満たす。
(2) フレアナット（ノズル側）を1本だけゆるめておく。
(3) 燃料が出てくるまでスターターでエンジンを回す。
(4) フレアナットを締め付ける。

T=150kg・cm

- (5) (2)~(4)の作業を各インジェクションパイプごとに行う。

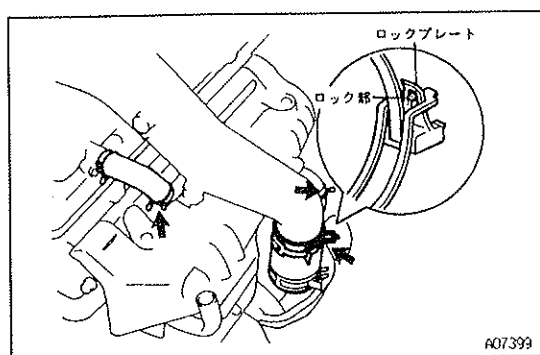


19 インテークパイプ取り付け

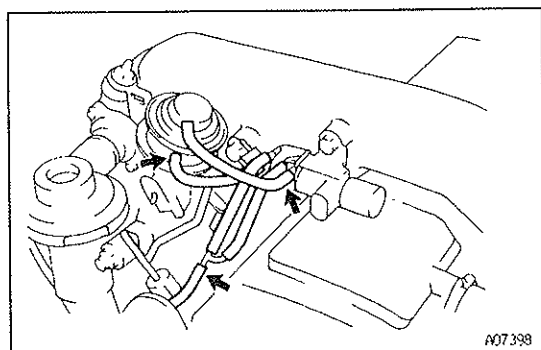
- (1) インテークパイプをエアホースNo.2 に差し込みながら、シールワッシャーおよびナット4個で取り付ける。

T=120kg・cm

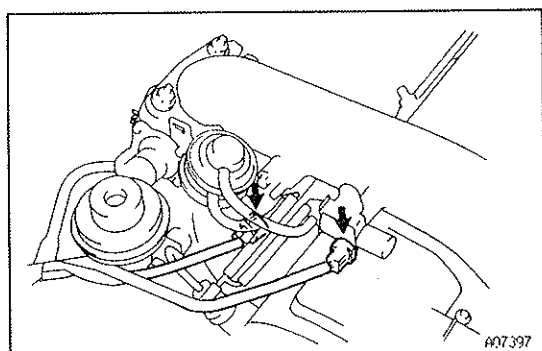
2



- (2) エアホースNo.2のクランプをプライヤーでひろげる。
- (3) ロックプレートの先端を指で押さえロックを解除する。
注意 ・バネ力が強いので、プライヤーがはずれないようにする。
 ・ホースに対して直角に取り付ける。
- (4) ベンチレーションホース2本を取り付ける。



- (5) 各 VSV のバキュームホースを取り付ける。



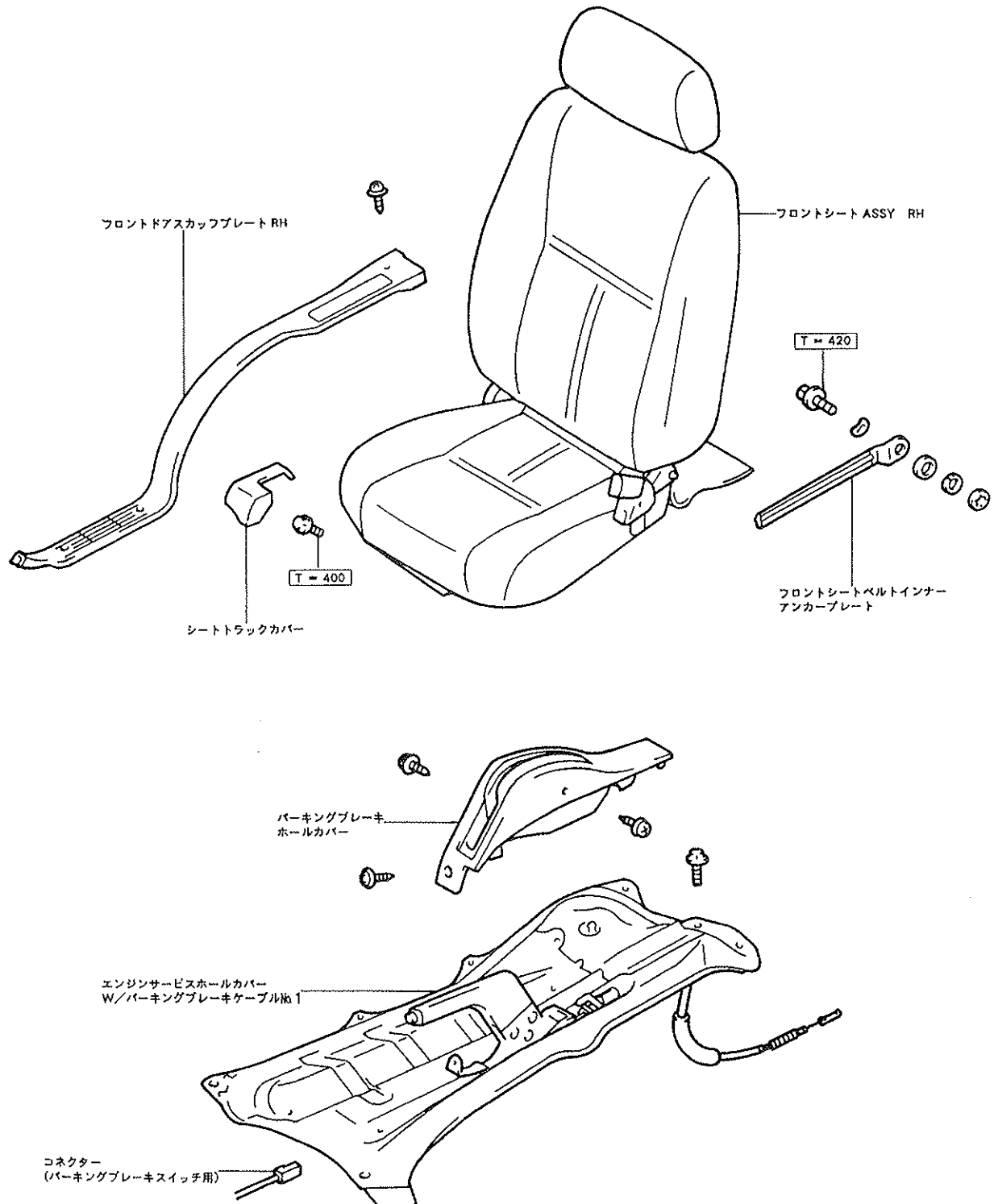
- (6) 各 VSV のコネクタを接続する。

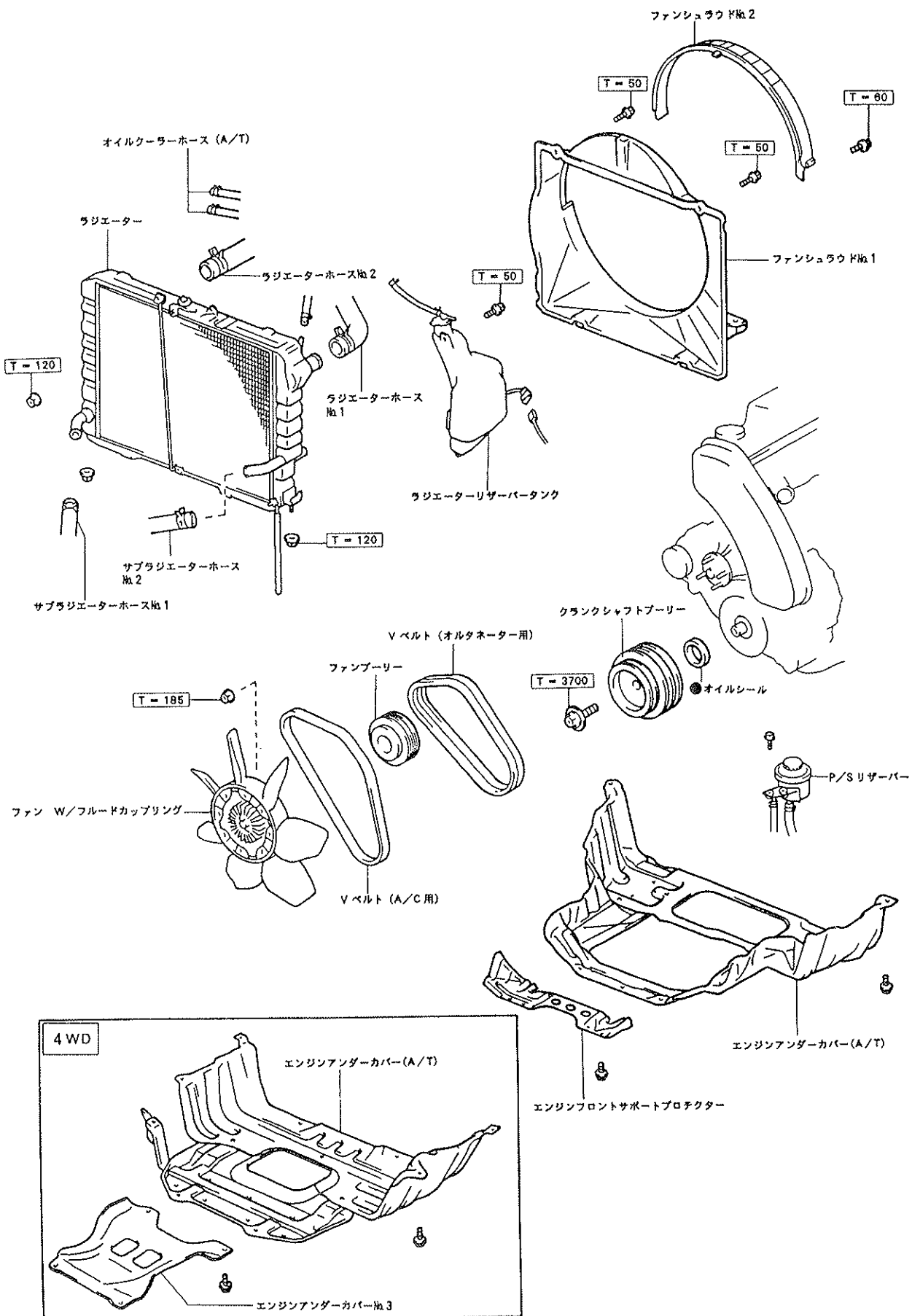
- 20 スピードコントロールケーブル取り付け（クルーズコントロール付き）
- 21 スロットルケーブル取り付け（A/T）
- 22 アクセルレーターケーブル取り付け
- 23 冷却水注入
- 24 冷却水、燃料漏れ点検
- 25 基本点検
 （「エンジン調整」—「基本点検」参照）
- 26 トランスミッションサービスホールカバー取り付け
- 27 エンジンサービスホールサブカバー取り付け
 （「エンジン調整」—「エンジンサービスホールサブカバー」参照）

クランクシャフトフロントオイルシール

T0023443

脱着構成図





●.....再使用不可部品

.....締め付けトルク (kg·cm)

クランクシャフトフロントオイルシール交換

1 ラジエーター取りはずし

(「クーリング」—「ラジエーター」参照)

2 クランクシャフトプーリー取りはずし

- (1) クランクシャフトをNo.4 シリンダー圧縮上死点位置にする。

(参考) クランクシャフトのキー位置を上側にするため。

- (2) SSTを使用してクランクシャフトプーリーを固定し、ボルトを取りはずす。

S S T 09213-58012 (2個) 09330-00021

90105-08076

(参考) クランクシャフトプーリーホールディングツールは2個使用する。

- (3) クランクシャフトプーリーを取りはずす。

(参考) 手で取りはずせない場合は、SSTを使用する。

S S T 09213-31021 09958-20010

3 クランクシャフトフロントオイルシール取りはずし

- (1) SSTを使用して、オイルシールを取りはずす。

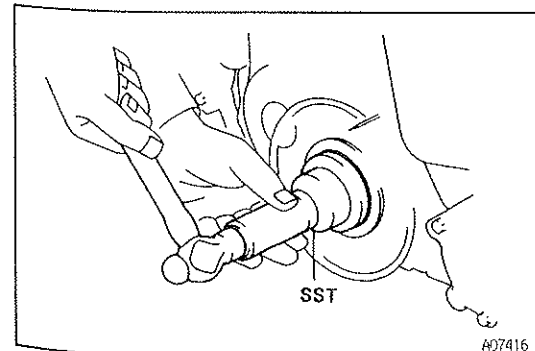
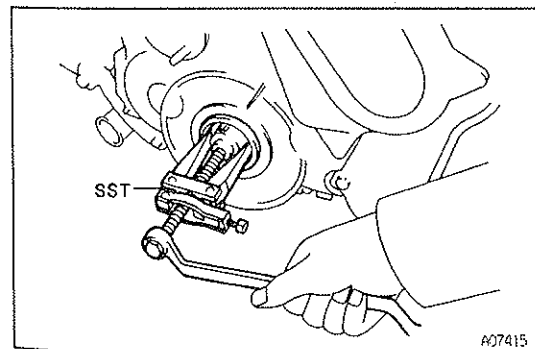
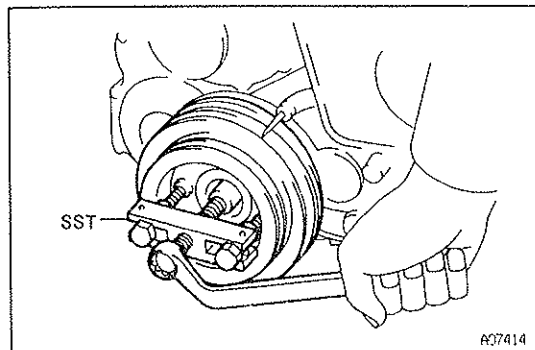
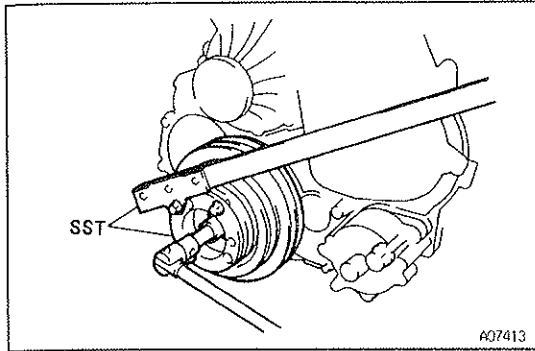
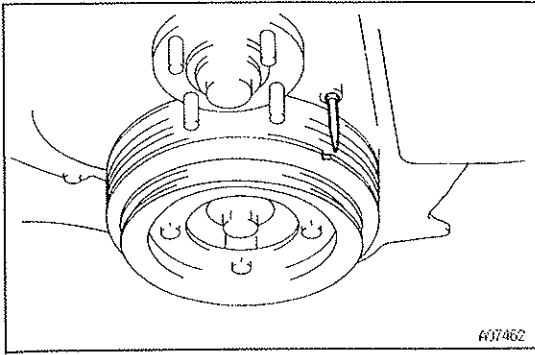
S S T 09308-10010 09958-20010

4 クランクシャフトフロントオイルシール取り付け

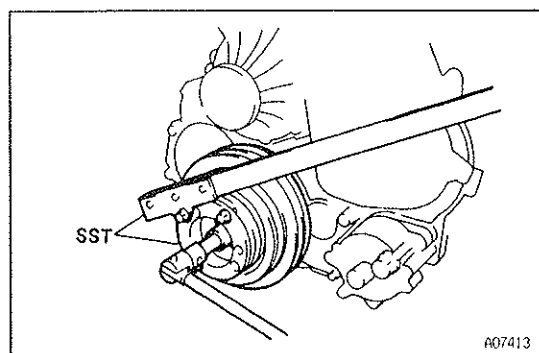
- (1) オイルシールのリップ部に少量のキャッスル・MP グリースNo.2を塗布する。

- (2) SSTを使用して、新品のオイルシールをタイミングギヤカバーと面一になるまで打ち込む。

S S T 09223-46011



2



5 クランクシャフトプーリー取り付け

- (1) クランクシャフトプーリーをクランクシャフトに取り付ける。

〈参考〉 かん合が硬い場合はプラスチックハンマーで軽くたたいて
取り付ける。

- (2) SST を使用して、プーリー取り付けボルトを取り付ける。

S S T 09213-58012 (2個) 09330-00021
90105-08076

〈参考〉 クランクシャフトプーリーホールディングツールは2個使用
する。

T=3700kg・cm

6 ラジエーター取り付け

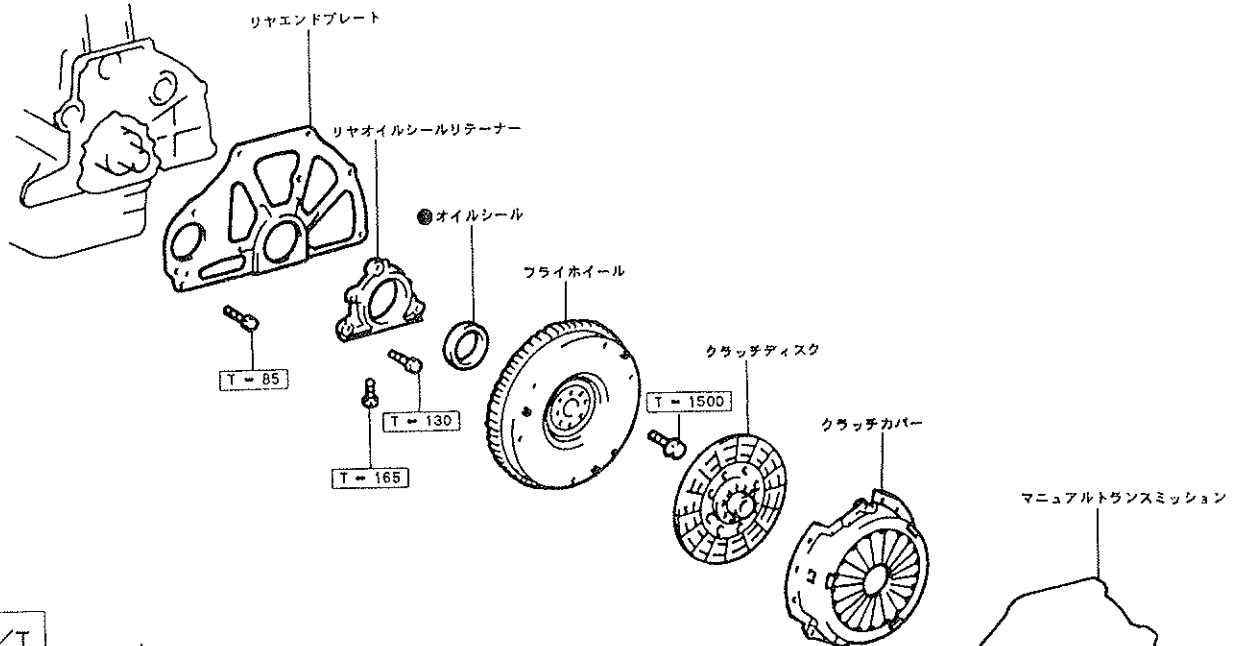
〔「クーリング」—「ラジエーター」参照〕

エンジンリヤオイルシール

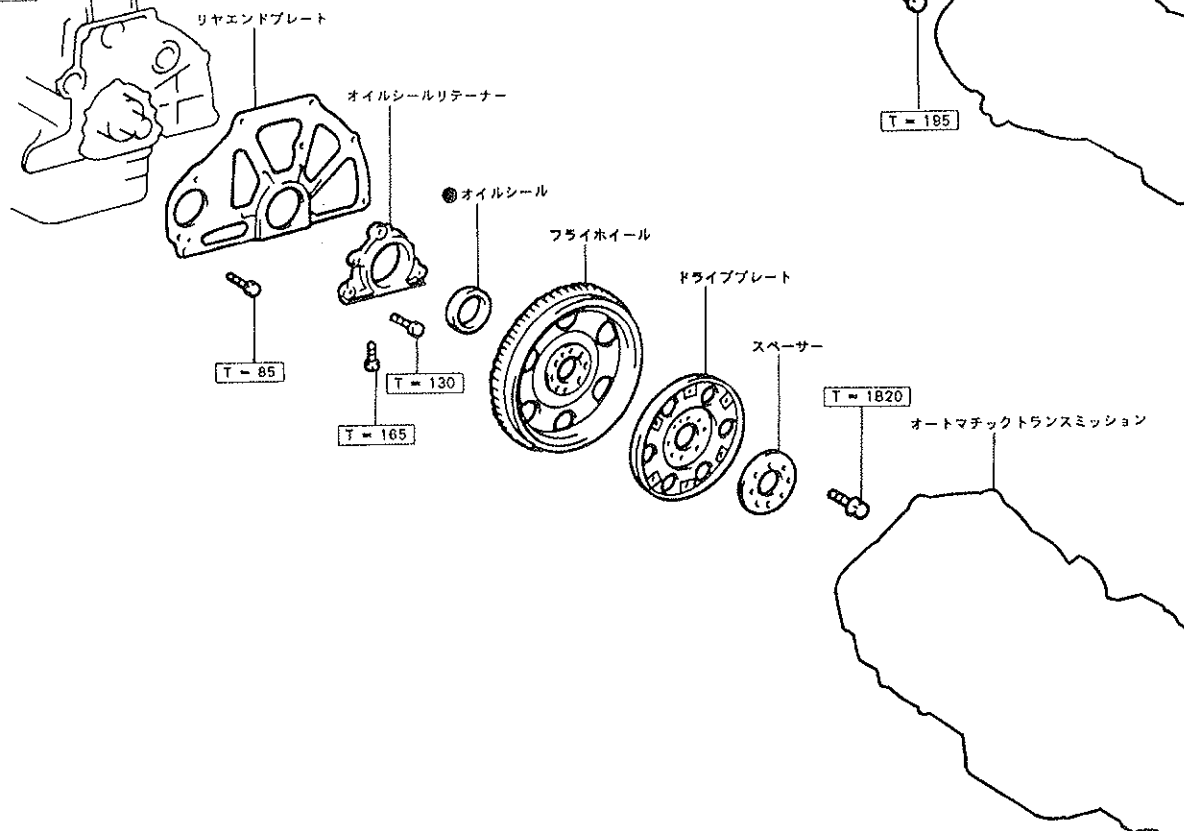
脱着構成図

2

M/T



A/T



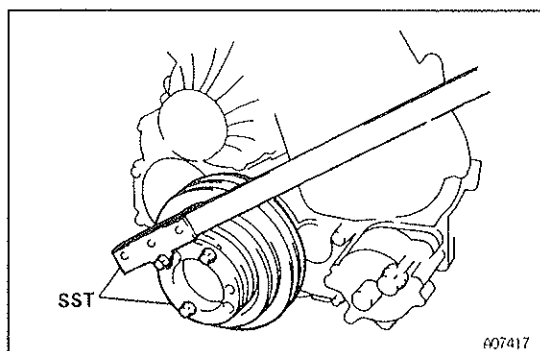
●.....再使用不可部品

□.....締め付けトルク (kg・cm)

エンジンリヤオイルシール交換

- 1 マニュアルトランスミッションおよびクラッチディスク取りはずし (M/T)
- 2 オートマチックトランスミッション取りはずし (A/T)

2



3 フライホイールおよびドライブプレート取りはずし

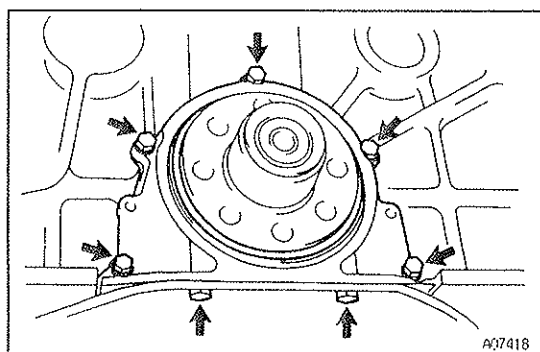
- (1) SST を使用して、クランクシャフトを固定する。

S S T 09213-58012 (2個) 09330-00021
90105-08076

〈参考〉 クランクシャフトブリーホールディングツールは2個使用する。

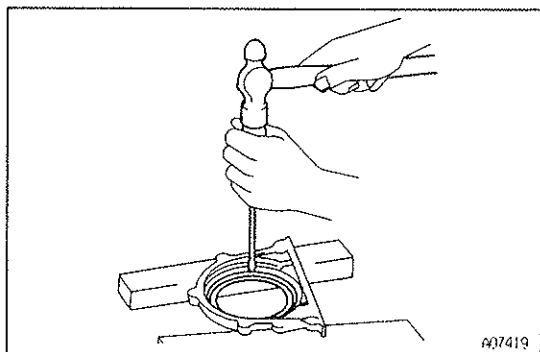
- (2) ボルト8本をはずし、フライホイールおよびドライブプレートを取りはずす。

4 リヤエンドプレート取りはずし



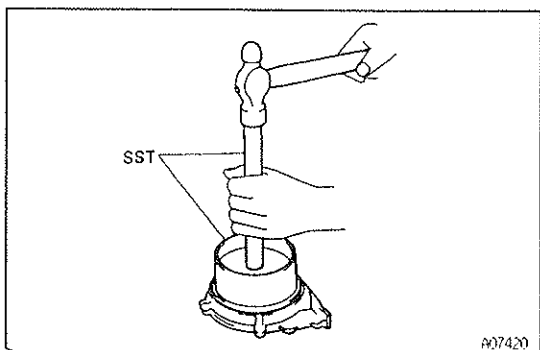
5 リヤオイルシールリテーナー取りはずし

- (1) ボルト7本をはずし、リテーナーを取りはずす。



6 リヤオイルシール取りはずし

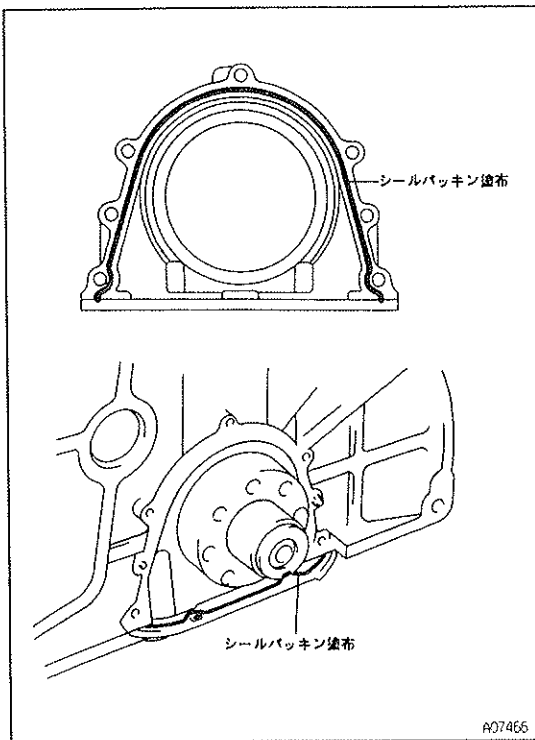
- (1) ⊖ドライバーを使用して、オイルシールをフロント側へ打ち抜く。



7 リヤオイルシール取り付け

- (1) 新品のオイルシールのリップ部にキャスル・MP グリースNo 2を塗布する。
- (2) SST を使用して、リテーナーと面一になるまでオイルシールを打ち込む。

S S T 09223-15030 09608-05010



8 リヤオイルシールリテーナー取り付け

- (1) 図の箇所を脱脂する。
- (2) 図の箇所にシールパッキンブラックを塗布し、5分以内にリテーナーを取り付ける。

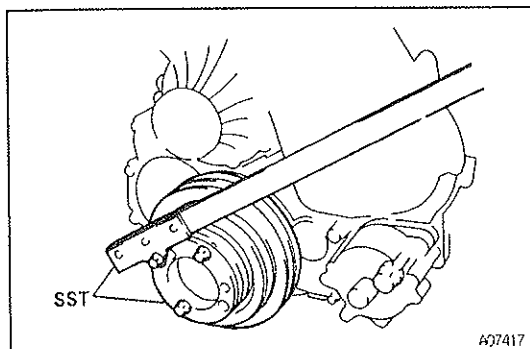
T=130kg・cm (リテーナー側)

T=165kg・cm (オイルパン側)

注意 組み付け後、2時間以内はエンジンを始動しないで放置する。

9 リヤエンドプレート取り付け

T=85kg・cm



10 フライホイールおよびドライブプレート取り付け

- (1) フライホイールまたはドライブプレートをセットする。

注意 A/T車は、ドライブプレートのフロント側にフライホイール、リヤ側にスパーサーが取り付けられている。

- (2) SSTを使用してクランクシャフトを固定し、ボルトを締め付ける。

S S T 09213-58012 (2個) 09330-00021

90105-08078

〈参考〉 クランクシャフトブリーホールディングツールは2個使用する。

T=1500kg・cm (M/T)

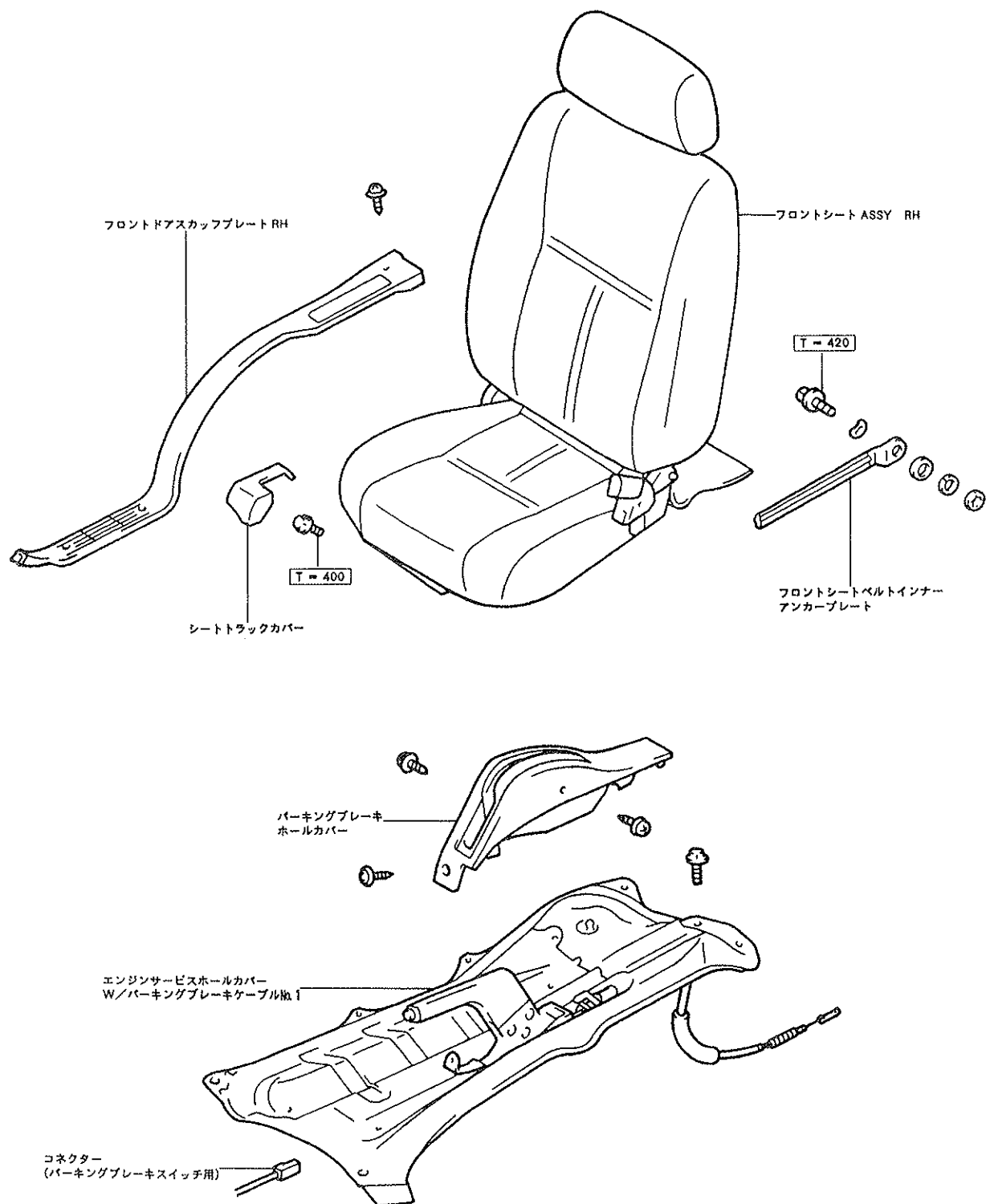
T=1820kg・cm (A/T)

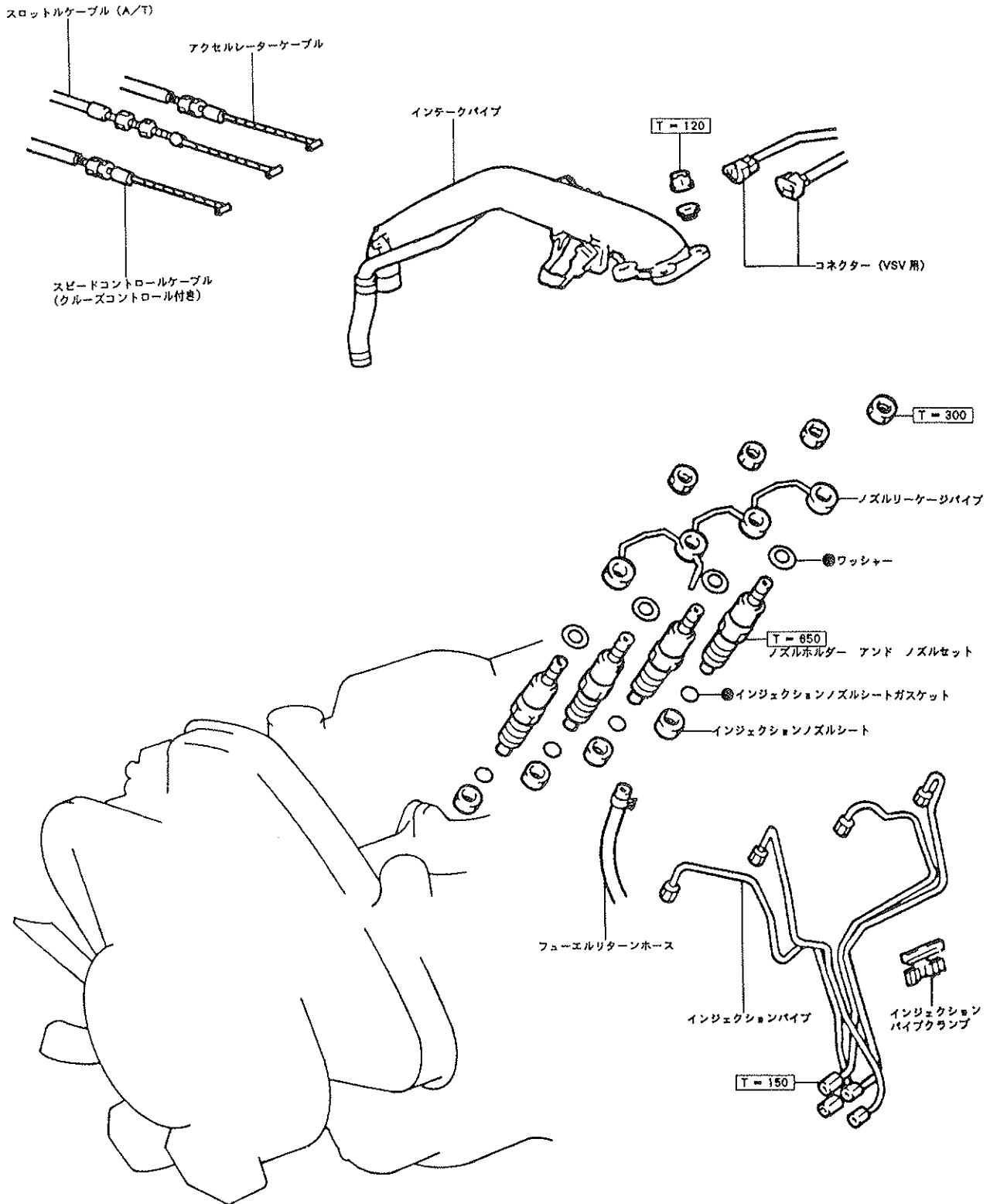
11 オートマチックトランスミッション取り付け (A/T)

12 クラッチディスクおよびマニュアルトランスミッション取り付け (M/T)

インジェクションノズルホルダー アンド ノズルセット

脱着構成図





●.....再使用不可部品

□.....締め付けトルク (kg・cm)

ノズルホルダー アンド ノズルセット取りはずし

1 エンジンサービスホールサブカバー取りはずし

(「エンジン調整」 - 「エンジンサービスホールサブカバー」参照)

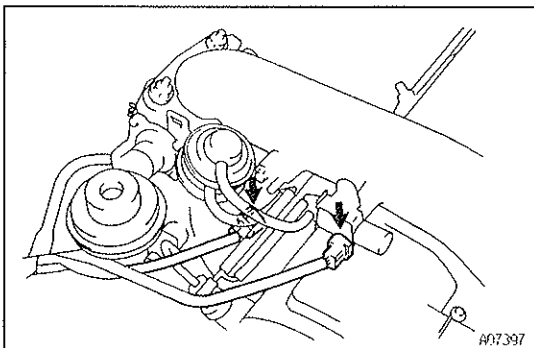
2 アクセルレーターケーブル切り離し

3 スロットルケーブル切り離し (A/T)

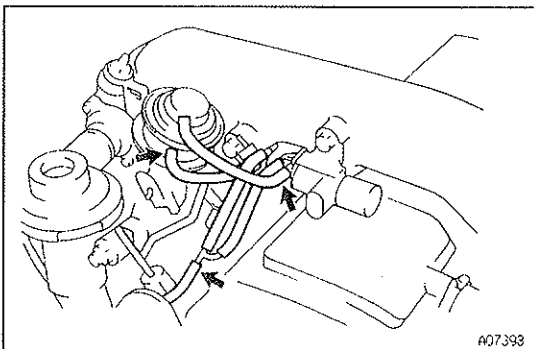
4 スピードコントロールケーブル切り離し (クルーズコントロール付き)

5 インテークパイプ取りはずし

(1) 各 VSV のコネクターを切り離す。



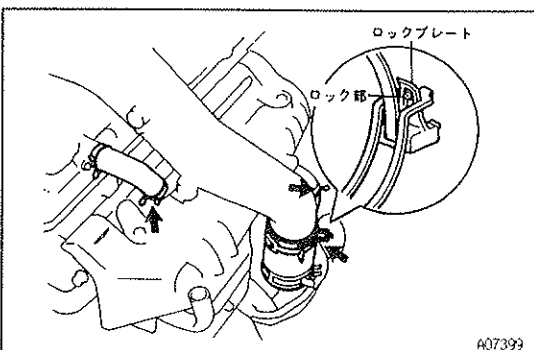
(2) 各 VSV のバキュームホースを切り離す。



(3) ベンチレーションホース2本を切り離す。

(4) エアホースNo.2のクランプをプライヤーでひろげ、ロック部にロックプレートを引っ掛ける。

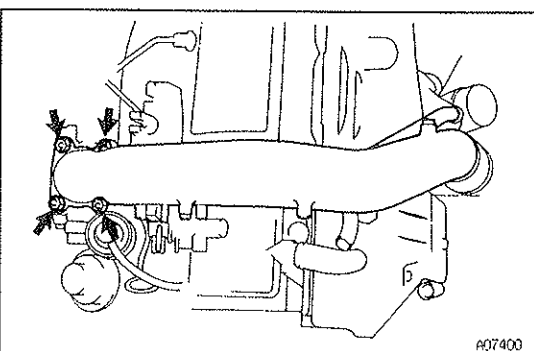
注意 ロック部にロックプレートが確実に掛かっていることを確認する。

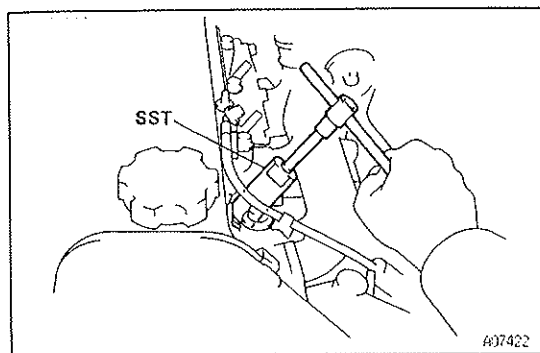
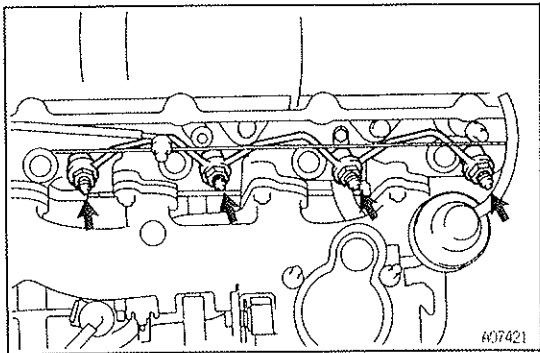


(5) ナットおよびシールワッシャー4個をはずし、インテークパイプを取りはずす。

6 フューエルリターンホース切り離し

7 インジェクションパイプ取りはずし





8 ノズルリーケージパイプNo.1 取りはずし

- (1) フューエルリターンホースを切り離す。
- (2) ナット 4 個をはずし、ノズルリーケージパイプNo.1 を取りはずす。
- (3) ワッシャーを取りはずす。

9 ノズルホルダー アンド ノズルセット取りはずし

- (1) SST を使用して、ノズルホルダー アンド ノズルセットを取りはずす。

S S T 09268-64020

- (2) ノズルシートおよびノズルガasket を取りはずす。

注意 ノズルシートは簡単に取りはずせない場合が多い。その場合は取りはずし不要。

ノズルホルダー アンド ノズルセット取り付け

1 ノズルホルダー アンド ノズルセット取り付け

- (1) ノズルシートおよび新品のノズルガasket をシリンダーヘッドに取り付ける。

注意 ・ノズルガasket は再使用不可。

・ノズルシートは充分清掃し、異常がなければ再使用可。

- (2) SST を使用して、ノズルホルダー アンド ノズルセットを取り付ける。

S S T 09268-64020

T=650kg・cm

2 ノズルリーケージパイプNo.1 取り付け

- (1) 新品のワッシャーを介して、ナット 4 個でノズルリーケージパイプNo.1 を取り付け。

T=300kg・cm

- (2) フューエルリターンホースを取り付ける。

3 インジェクションパイプ取り付け

- (1) ノズル側フレアナットは仮付け、ポンプ側は締め付ける。

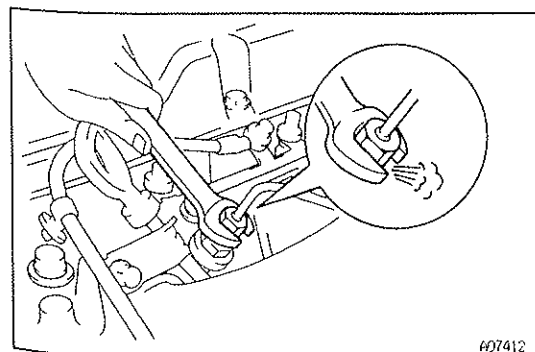
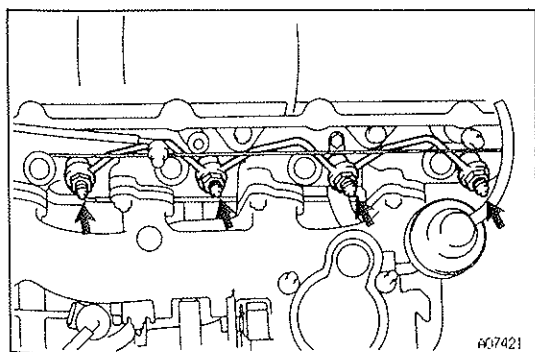
T=150kg・cm

4 インジェクションパイプエア抜き

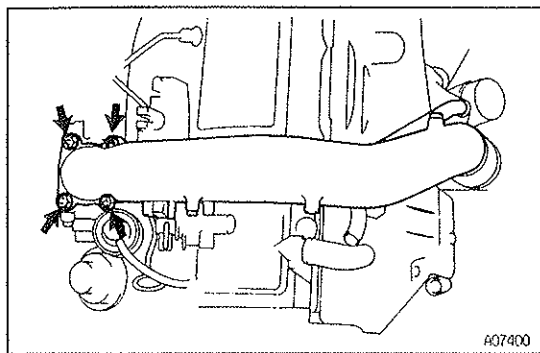
- (1) フューエルフィルター上部のブライミングポンプを上下に動かし、インジェクションポンプおよび燃料系統に燃料を満たす。
- (2) フレアナット (ノズル側) を 1 本だけゆるめておく。
- (3) 燃料が出てくるまでスターターでエンジンを回す。
- (4) フレアナットを締め付ける。

T=150kg・cm

- (5) (2)~(4)の作業を各インジェクションパイプごとに行う。

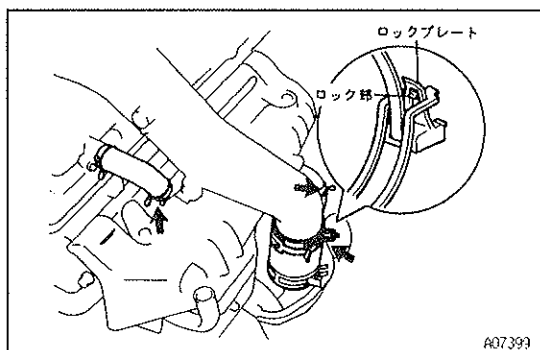


2



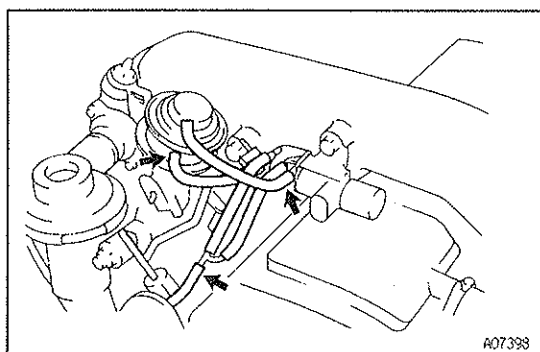
5 インテークパイプ取り付け

- (1) インテークパイプをエアホースNo.2に差し込みながら、シールワッシャーおよびナット4個で取り付ける。

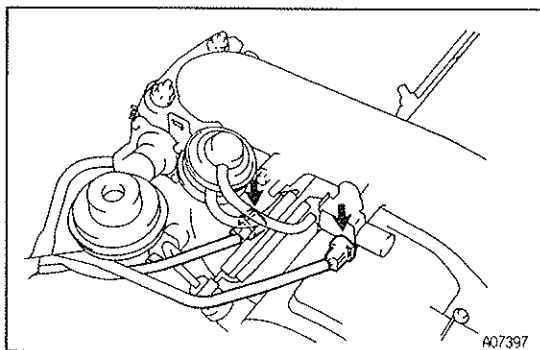


- (2) エアホースNo.2のクランプをプライヤーでひろげる。
 (3) ベンチレーションホース2本を取り付ける。
 (4) ロックプレートの先端を指で押さえロックを解除する。

注意 ・バネ力が強いので、プライヤーがはずれないようにする。
 ・ホースに対して直角に取り付ける。



- (5) 各 VSV のバキュームホースを取り付ける。



- (6) 各 VSV のコネクターを接続する。

6 スピードコントロールケーブル取り付け (クルーズコントロール付き)

7 スロットルケーブル取り付け (A/T)

8 アクセルレーターケーブル取り付け

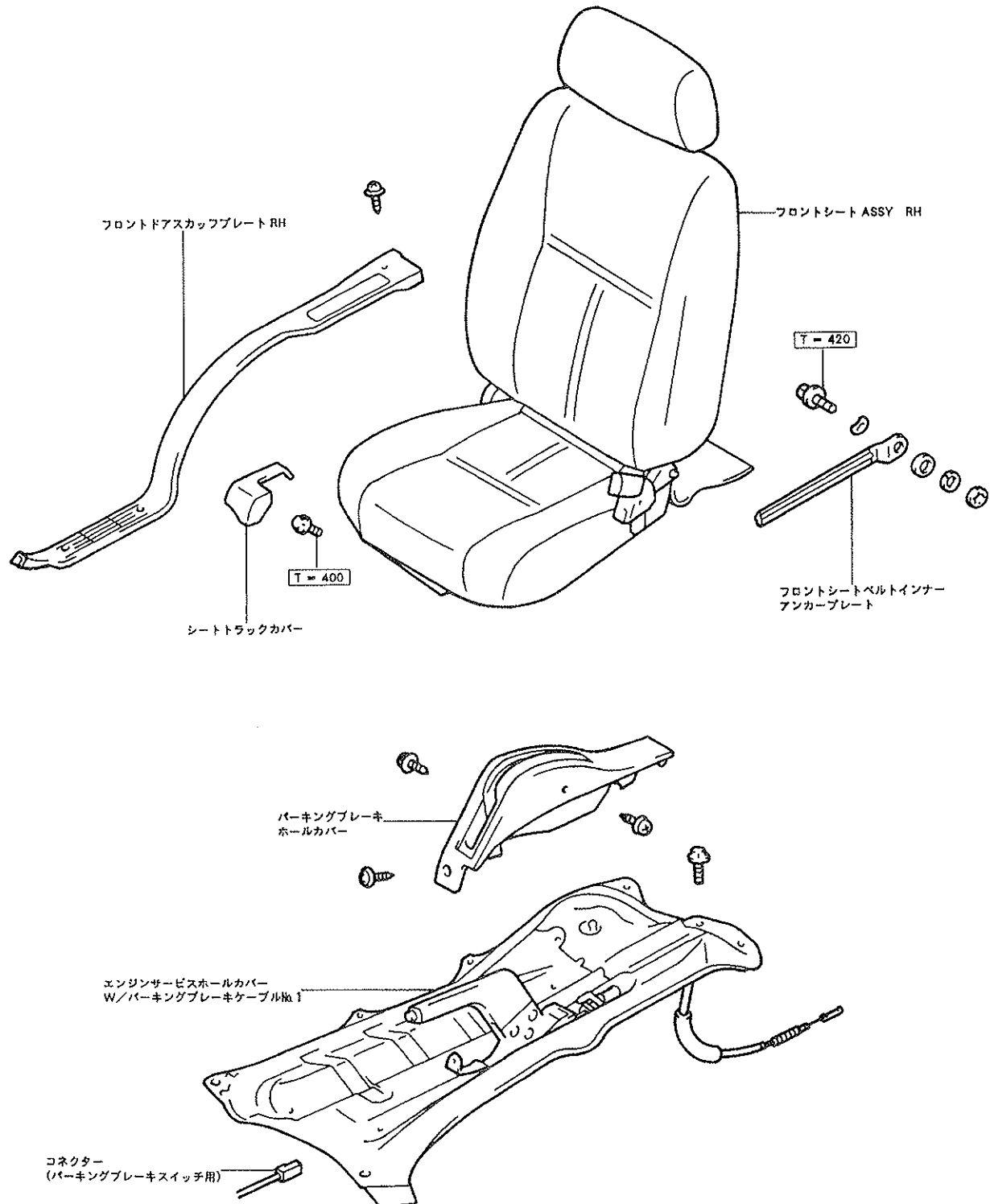
9 エンジンサービスホールサブカバー取り付け

(「エンジン調整」→「エンジンサービスホールサブカバー」参照)

10 燃料漏れ点検

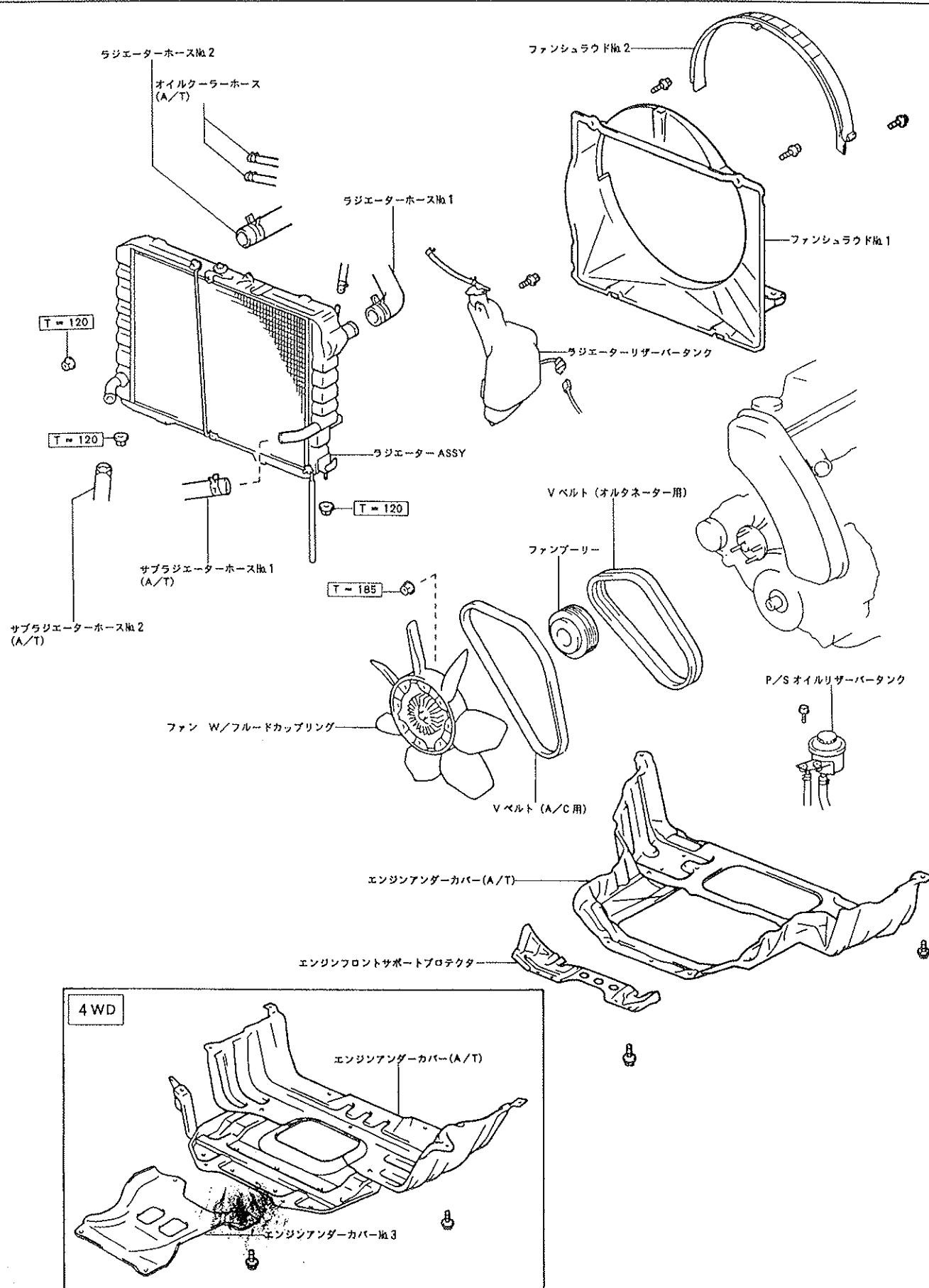
インジェクションポンプ

脱着構成図

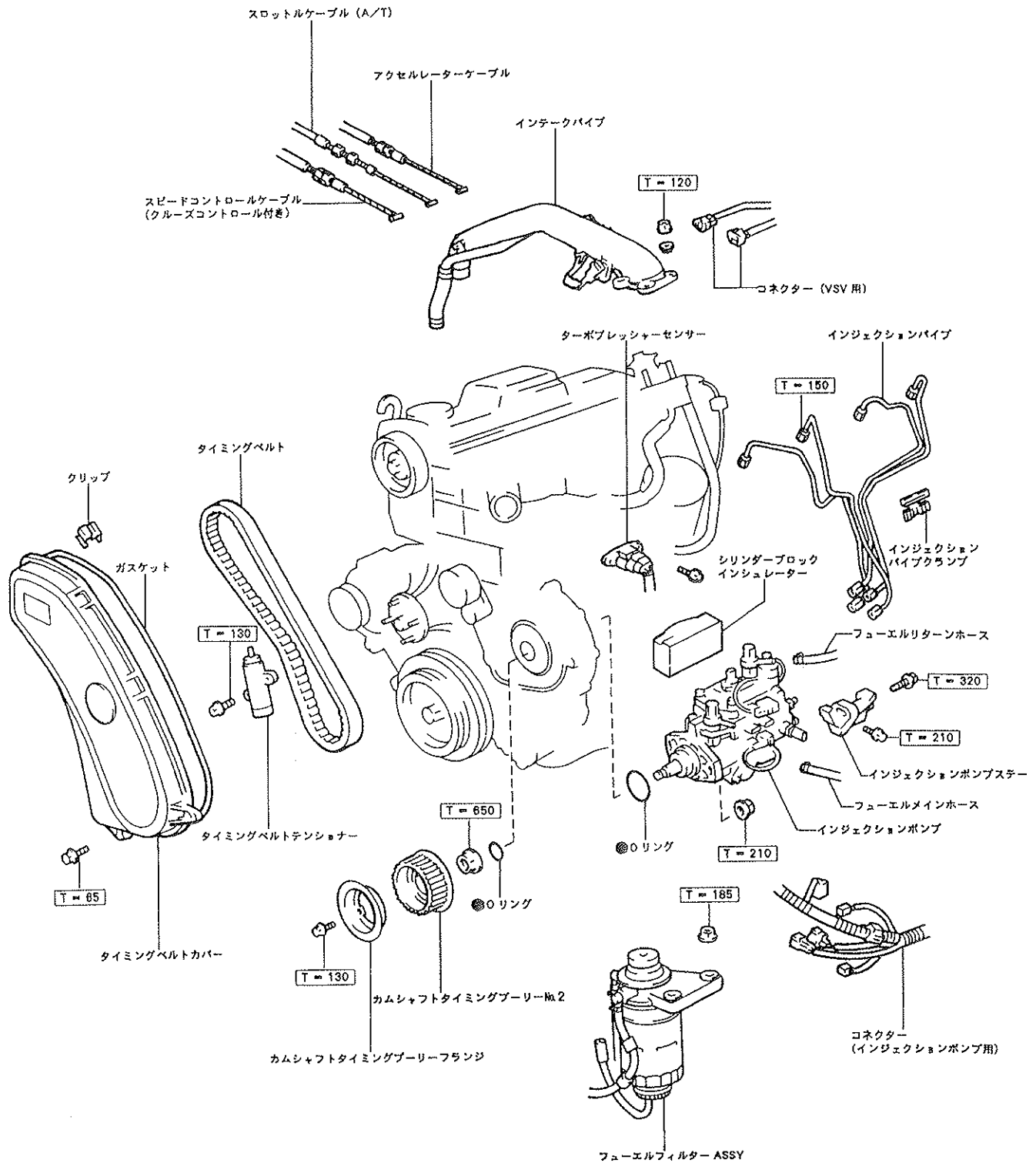


.....締め付けトルク (kg・cm)

2



.....締め付けトルク (kg・cm)



インジェクションポンプ取りはずし

1 ラジエーター取りはずし

(「クーリング」-「ラジエーター」参照)

2 フューエルフィルター取りはずし

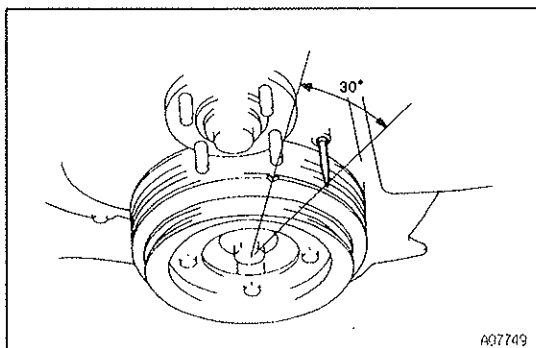
(「フューエル」-「フューエルフィルターエレメント」参照)

3 タイミングベルト取りはずし

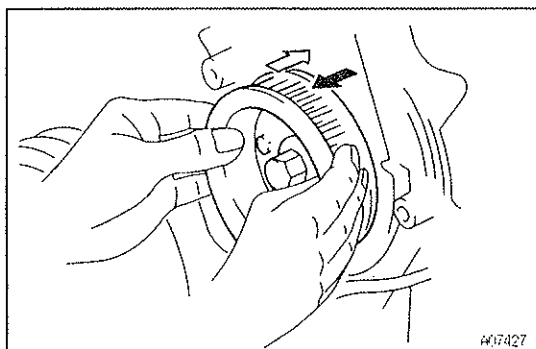
(「エンジン本体」-「タイミングベルト」参照)

4 ポンプドライブシャフトスラストクリアランス点検

- (1) クランクシャフトをNo.4 シリンダー上死点位置から約 30° 逆回転させる。

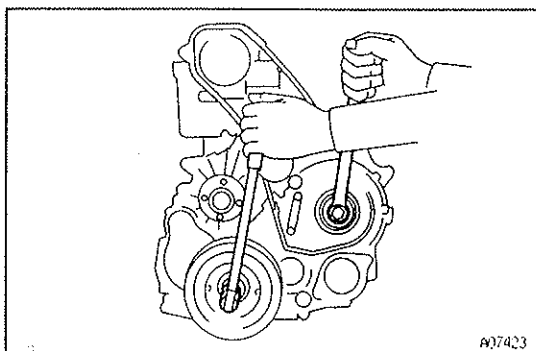


- (2) カムシャフトタイミングプリーを前後に押して、インジェクションポンプギヤのスラストクリアランスの感覚をつかんでおく。



5 カムシャフトタイミングプリーNo.2 取りはずし

- (1) ボルト4本をはずし、タイミングプリーNo.2 およびタイミングプリーフランジを取りはずす。



6 インジェクションポンプドライブギヤセットナット取りはずし

- (1) T/M のギヤをローに入れて、ナットを取りはずす。(M/T)
 (2) クランクシャフトが回転しないように押さえ、ナットを取りはずす。(A/T)
 (3) O リングを取りはずす。

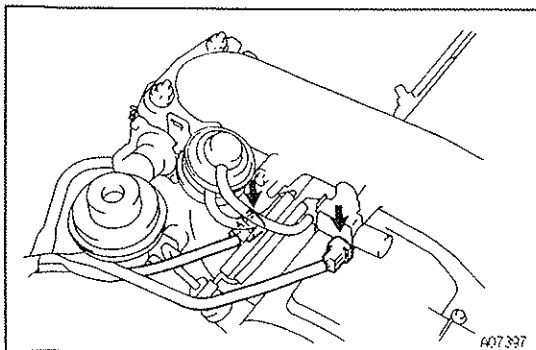
7 アクセルレーターケーブル切り離し

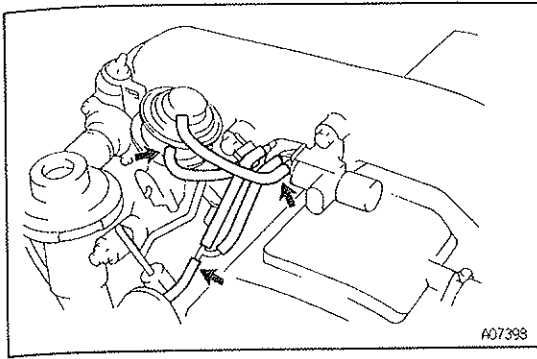
8 スロットルケーブル切り離し (A/T)

9 スピードコントロールケーブル切り離し (クルーズコントロール付き)

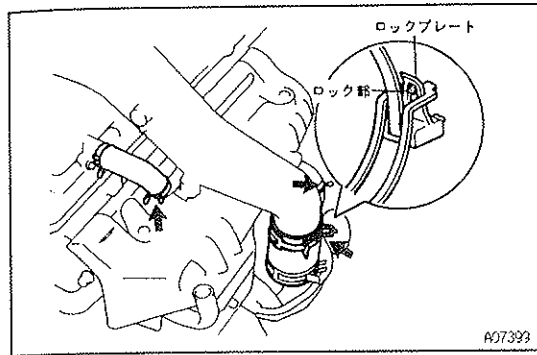
10 インテークパイプ取りはずし

- (1) 各 VSV のコネクターを切り離す。





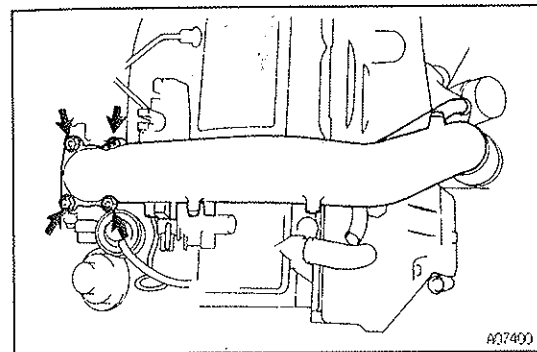
(2) 各 VSV のバキュームホースを切り離す。



(3) ベンチレーションホース 2 本を切り離す。

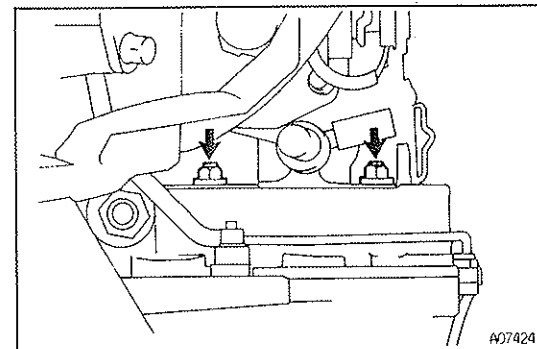
(4) エアホース No. 2 のクランプをプライヤーでひろげ、ロック部にロックプレートを引っ掛ける。

注意 ロック部にロックプレートが確実に掛かっていることを確認する。

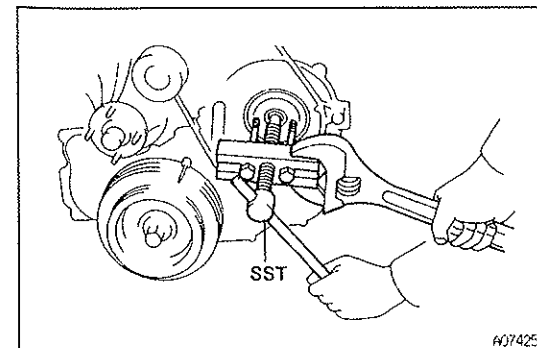


(5) ナットおよびワッシャー 4 個をはずし、インテークパイプを取りはずす。

- 11 バキュームホース切り離し
- 12 ターボプレッシャーセンサー切り離し
- 13 インジェクションパイプ取りはずし
- 14 各コネクター切り離し (インジェクションポンプ用)
- 15 フューエルホース切り離し
- 16 インジェクションポンプステー取りはずし
- 17 シリンダーブロックインシュレーター取りはずし



- 18 インジェクションポンプ取りはずし
- (1) 取り付けナット 2 個を 2~3 mm ゆるめる。



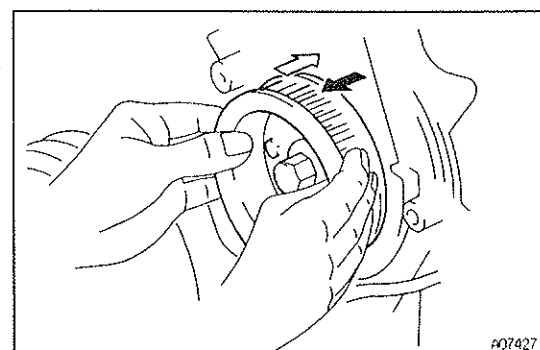
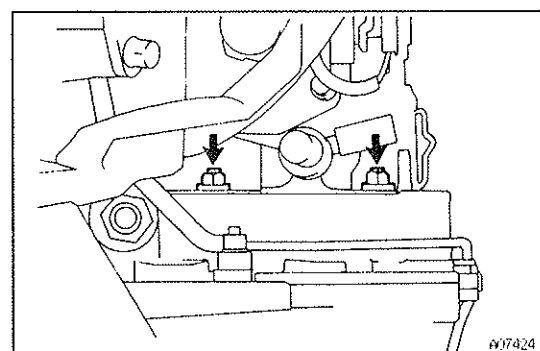
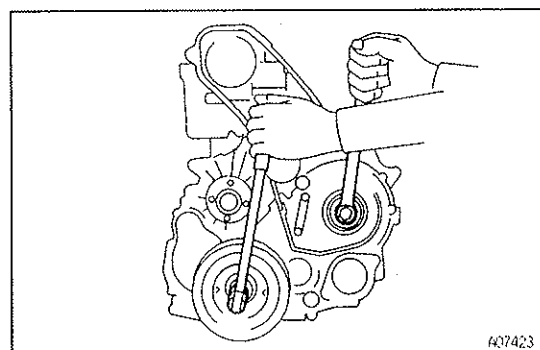
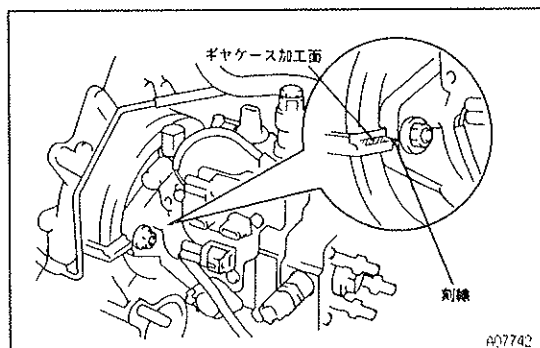
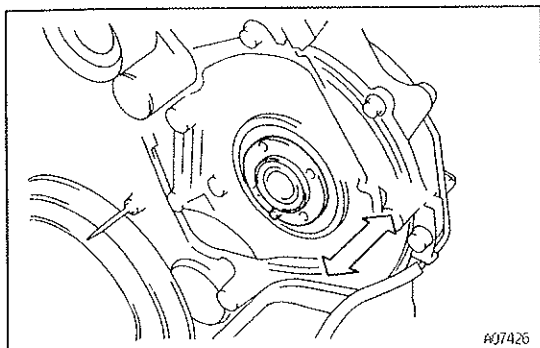
(2) SST を使用して、ポンプドライブギヤからインジェクションポンプを切り離す。

S S T 09213-00020 09213-00030 09213-00060
09958-20010

注意 SST のボルトは、左右均等に 8 mm 以上ねじ込む。

- (3) ナット 2 個をはずし、インジェクションポンプを取りはずす。
- (4) O リングを取りはずす。

2



インジェクションポンプ取り付け

1 インジェクションポンプ取り付け

- (1) 新品の O リングをインジェクションポンプに取り付ける。
- (2) タイミングギヤケース内のインジェクションポンプドライブギヤが前後方向にスムーズに動くことを確認する。
- (3) インジェクションポンプをインジェクションポンプドライブギヤのキー溝に合わせてタイミングギヤケースにセットする。
- (4) インジェクションポンプを手で保持し、インジェクションポンプドライブギヤを車両後方に押して、インジェクションポンプドライブシャフトと密着させる。
- (5) インジェクションポンプフランジ部の刻線とタイミングギヤケース加工面の上面を合わせて、インジェクションポンプ取り付けナット 2 個を仮付けする。

- (6) T/M のギヤをローに入れ、新品の O リングを介して、インジェクションポンプドライブギヤセットナットを取り付ける。(M/T)
- (7) クランクシャフトが回転しないように押さえ、新品のガスケットを介して、インジェクションポンプドライブギヤセットナットを取り付ける。(A/T)
- (8) ナットを締め付ける。

T=650kg・cm

- (9) インジェクションポンプ取り付けナット 2 個を 2～3 回に分けて均等に締め付ける。

T=210kg・cm

2 カムシャフトタイミングプリー No.2 取り付け

- (1) ナットで、カムシャフトタイミングプリー No.2 と同時にカムシャフトタイミングプリーフランジを取り付ける。

T=130kg・cm

3 ポンプドライブシャフトスラストクリアランス確認

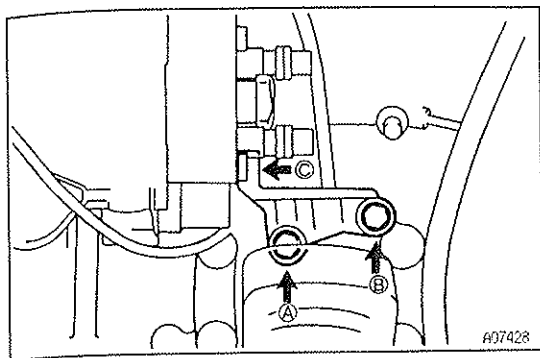
- (1) カムシャフトタイミングプリー No.2 を前後に押して、インジェクションポンプドライブシャフトのスラストクリアランスを確認する。

注意 クランクシャフトプリーの切り欠きが圧縮上死点前 30° の位置であること。

参考値 0.15～0.55mm

クリアランスが全くない場合は、タイミングギヤカバーを一度はずして再組み付けする。

(「ルブリケーション」-「タイミングギヤケース」参照)



4 インジェクションポンプステー取り付け

- (1) ポンプステーをボルト④、⑤で仮付けする。

注意 ポンプステーがシリンダーブロックに密着した状態になっていることを確認する。

- (2) インジェクションポンプ取り付けボルト③を取り付ける。

$T=320\text{kg}\cdot\text{cm}$

- (3) ボルト④、⑤を本締めする。

$T=210\text{kg}\cdot\text{cm}$

5 シリンダーブロックインシュレーター取り付け

6 フューエルホース取り付け

7 ターボプレッシャーセンサー取り付け

8 バキュームホース取り付け

9 タイミングベルト取り付け

(「エンジン本体」-「タイミングベルト」参照)

10 ラジエーター取り付け

(「クーリング」-「ラジエーター」参照)

11 フューエルフィルター取り付け

(「フューエル」-「フューエルフィルターエレメント」参照)

12 噴射時期点検、調整

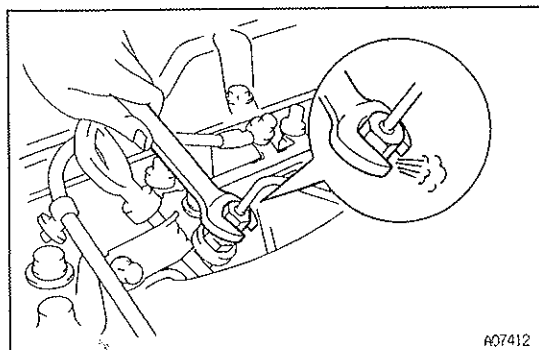
(「エンジン調整」-「基本点検」参照)

13 インジェクションパイプ取り付け

- (1) ノズル側フレアナットは仮付け、ポンプ側は締め付ける。

$T=150\text{kg}\cdot\text{cm}$

14 各コネクター接続 (インジェクションポンプ用)



15 インジェクションパイプエア抜き

- (1) フューエルフィルター上部のプライミングポンプを上下に動かして、インジェクションポンプおよび燃料系統に燃料を満たす。

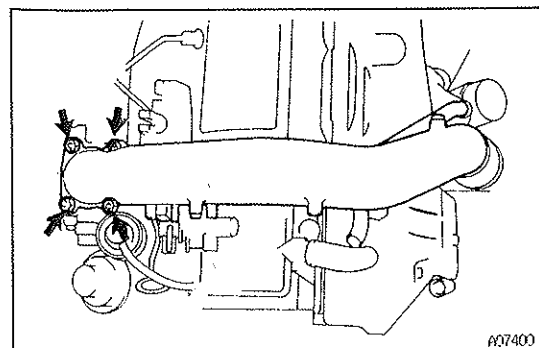
- (2) フレアナット (ノズル側) を1本だけゆるめておく。

- (3) 燃料が出てくるまでスターターでエンジンを回す。

- (4) フレアナットを締め付ける。

$T=150\text{kg}\cdot\text{cm}$

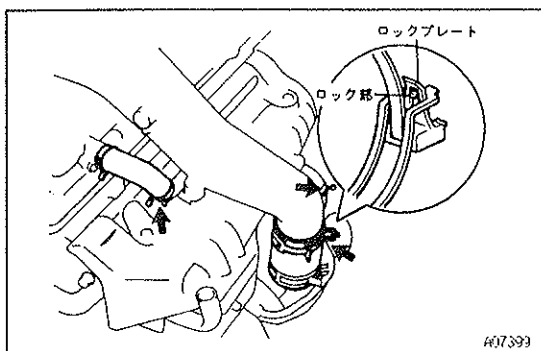
- (5) (2)~(4)の作業を各インジェクションパイプごとに行う。



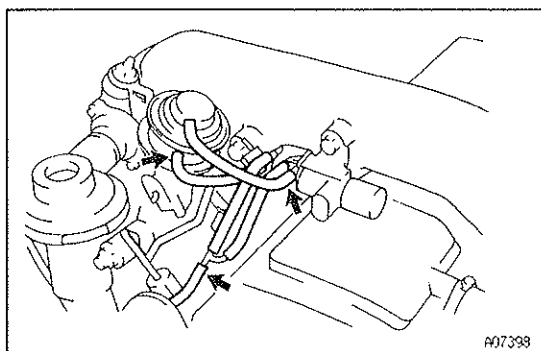
16 インテークパイプ取り付け

- (1) インテークパイプをエアホースNo.2に差し込みながら、シールワッシャーおよびナット4個で取り付ける。

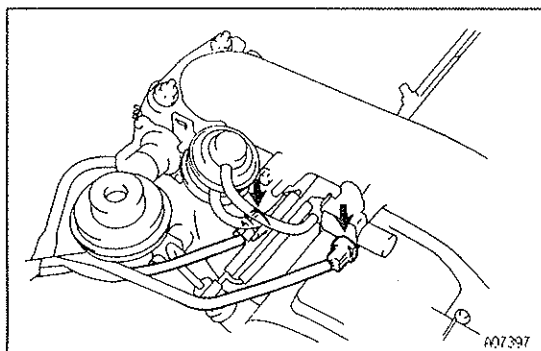
$T=120\text{kg}\cdot\text{cm}$



- (2) エアホースNo.2のクランプをプライヤーでひろげる。
- (3) ベンチレーションホース2本を取り付ける。
- (4) ロックプレートの先端を指で押さえロックを解除する。
注意 ・バネ力が強いので、プライヤーがはずれないようにする。
 ・ホースに対して直角に取り付ける。



- (5) 各 VSV のバキュームホースを取り付ける。



- (6) 各 VSV のコネクターを接続する。

- 17 スピードコントロールケーブル取り付け (クルーズコントロール付き)
- 18 スロットルケーブル取り付け (A/T)
- 19 アクセルレーターケーブル取り付け
- 20 冷却水注入
- 21 冷却水漏れ点検
- 22 燃料漏れ点検
- 23 基本点検

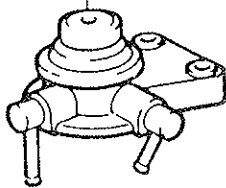
(「エンジン調整」 - 「基本点検」参照)

フューエルフィルターエレメント

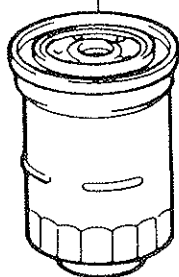
脱着分解構成図

2

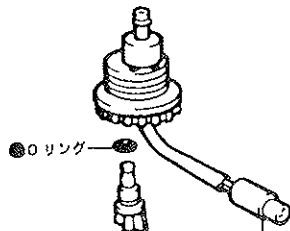
フューエルフィルターキャップ ASSY



● フューエルフィルターエレメントサブ ASSY



● O リング



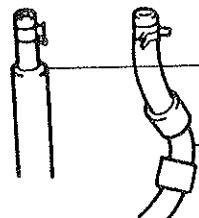
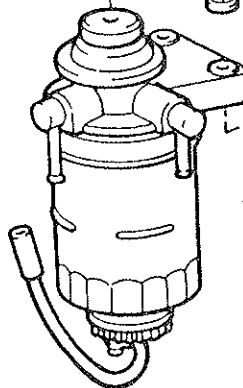
● O リング

ドレーンプラグ

レベルワーニングスイッチ

フューエルフィルター ASSY

T = 185

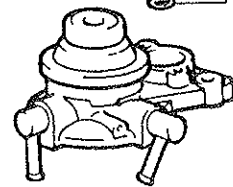


寒冷地仕様

フューエルヒーター



● O リング



フューエルホース

●再使用不可部品

.....締め付けトルク (kg・cm)

フューエルフィルターエレメント取りはずし

1 燃料抜き取り

(1) ドレンプラグをゆるめ、燃料を抜き取る。

2 フューエルホース切り離し

3 レベルウォーニングスイッチ用コネクター切り離し

4 フューエルヒーター用コネクター切り離し (寒冷地仕様)

5 フューエルフィルター ASSY 取りはずし

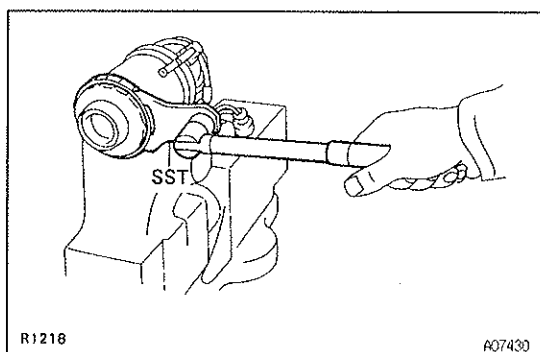
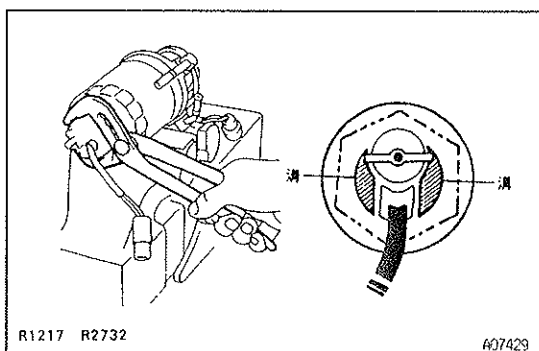
(1) ナット2個をはずし、フューエルフィルター ASSY を取りはずす。

6 フューエルフィルターエレメント取りはずし

(1) フィルターキャップをバイスにはさむ。

(2) ウォーターポンプブライヤーを使用して、レベルウォーニングスイッチを取りはずす。

注意 ウォーターポンプブライヤーで図の溝部を挟むとスイッチが破損するので、六角部を挟んで回す。



(3) SST を使用して、フューエルフィルターエレメントを取りはずす。

S S T 09228-64010

フューエルフィルターエレメント取り付け

1 フューエルフィルターエレメント取り付け

(1) ガasketに軽油を少量塗布し、エレメントを手でいっぱい締め付ける。

注意 SST を使用して締め付けない。

(2) 新品のOリングを介して、レベルウォーニングスイッチを手でいっぱい締め付ける。

(3) Oリングを取り付けてドレンプラグを締め付ける。

2 フューエルフィルター ASSY 取り付け

T=185kg・cm

3 フューエルヒーター用コネクター接続 (寒冷地仕様)

4 レベルウォーニングスイッチ用コネクター接続

5 フューエルホース取り付け

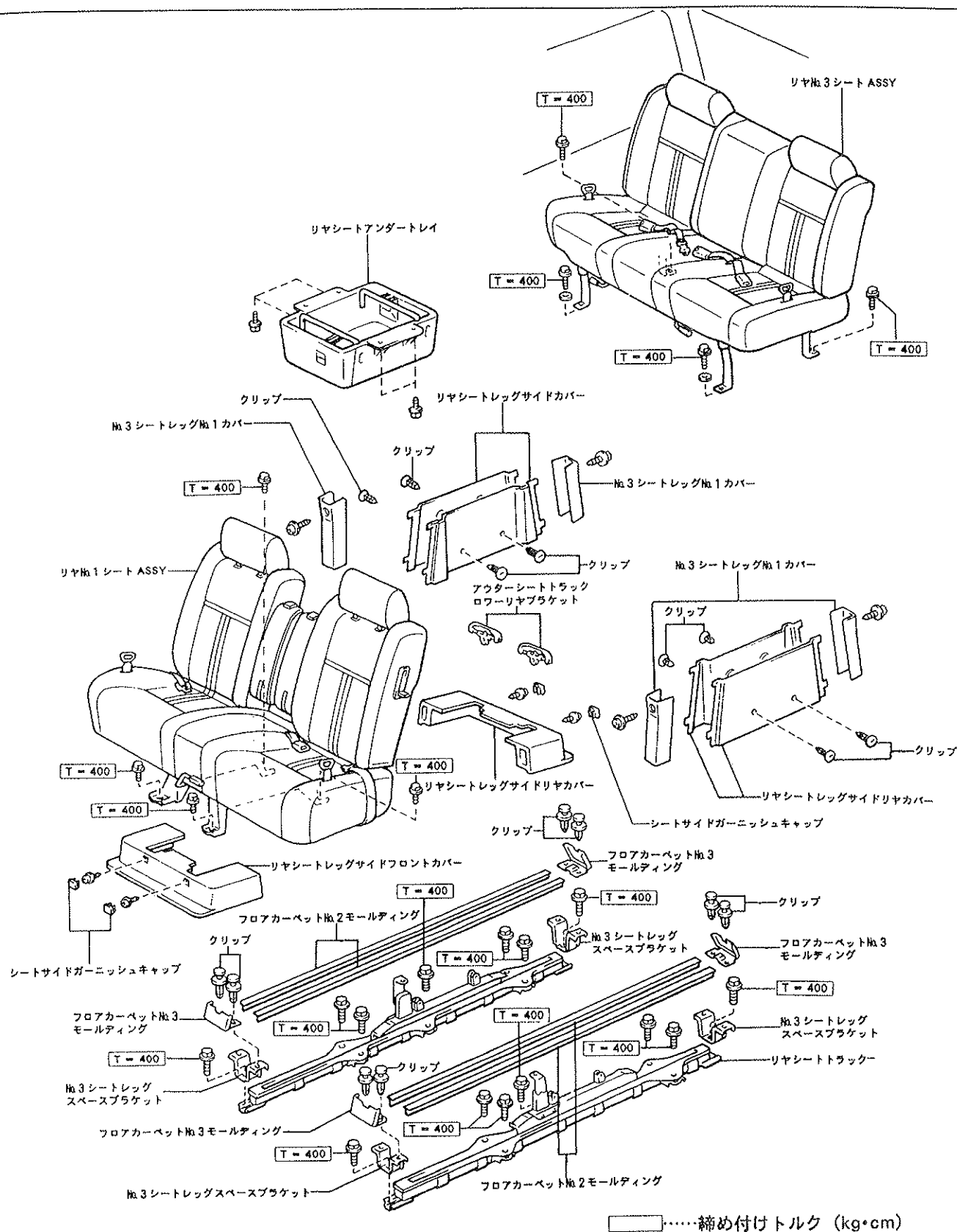
6 燃料漏れ点検

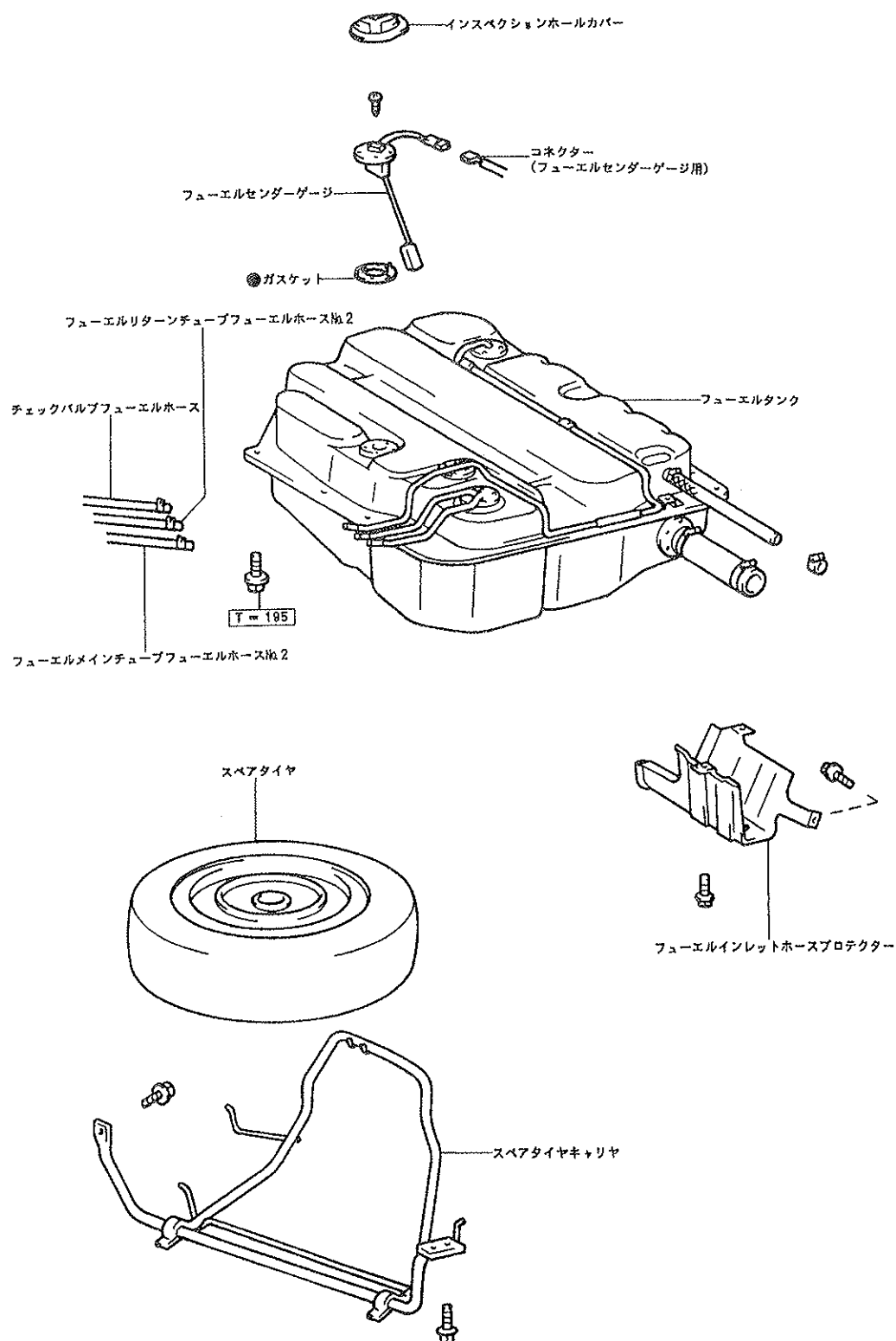
(1) フィルター上部のプライミングポンプを上下に動かし、燃料系統に燃料を満たす。

(2) エンジンを始動し、燃料系統に漏れがないことを確認する。

フューエルタンク

脱着構成図

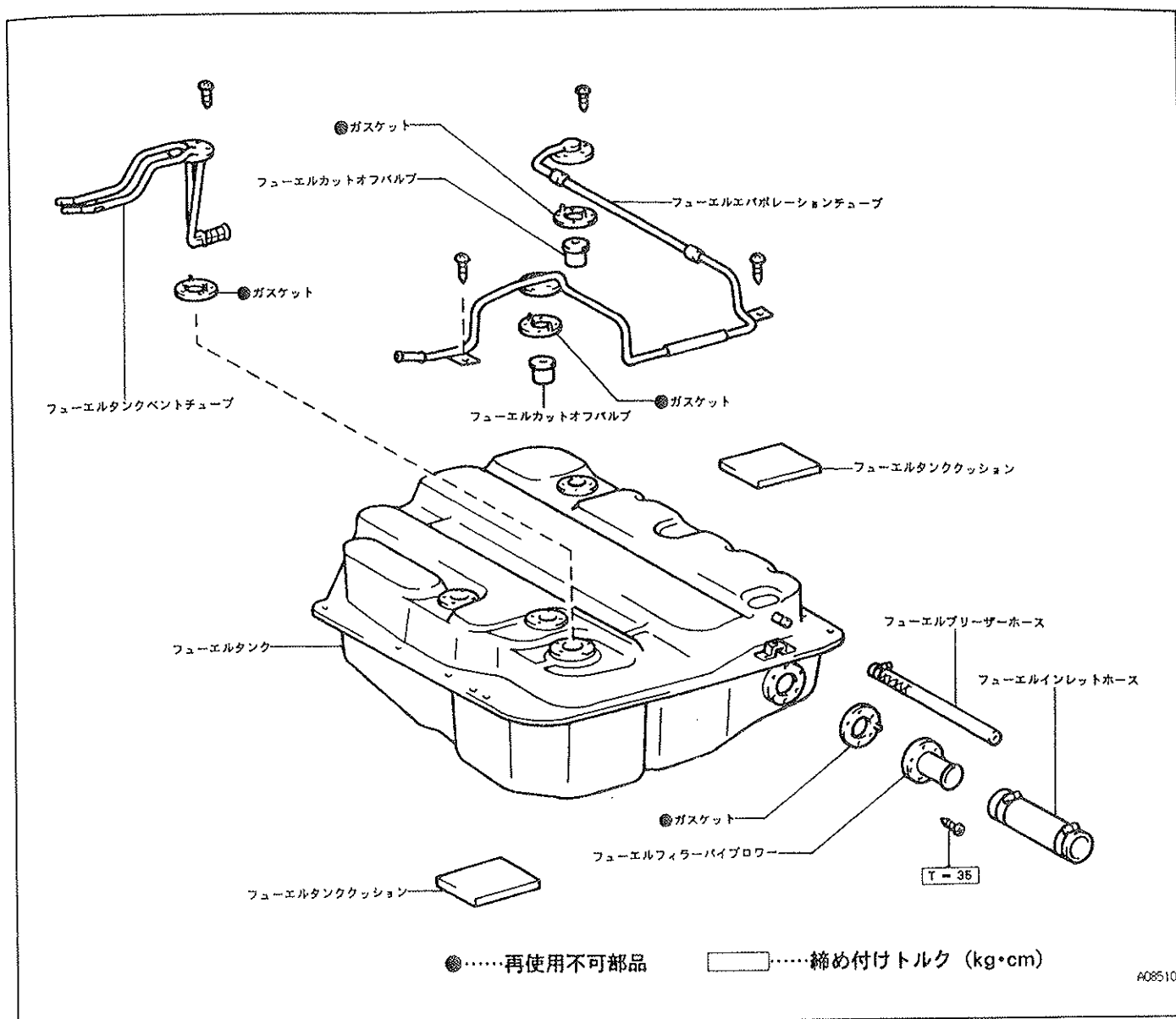




●……再使用不可部品

□……締め付けトルク (kg·cm)

分解構成図



フューエルタンク取りはずし

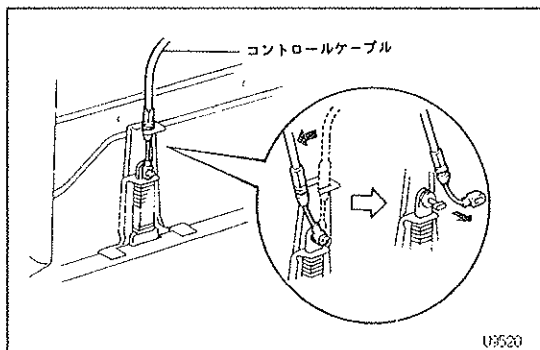
1 フューエルセンサーゲージ用コネクター切り離し

デラックス, カスタム

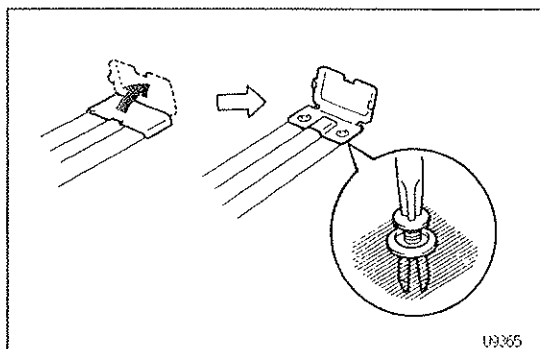
- (1) バックドアスカッププレートを取りはずす。
- (2) リヤNo.3シートを折りたたむ。
- (3) リヤNo.3シートストライカーを取りはずす。
- (4) リヤフロアマットをめくる。
- (5) インスペクションホールカバーを取りはずし、フューエルセンサーゲージ用コネクターを切り離す。

スーパーカスタム以上

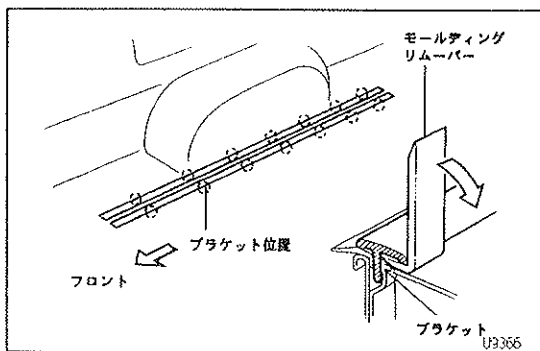
- (1) バックドアスカッフプレートを取りはずす。
- (2) リヤNo.1 およびNo.2 シートを取りはずす。
- (3) No.3 シートレッグNo.1 カバーを取りはずす。
- (4) クリップリムーバーを使用して、クリップ各2個または各4個を取りはずし、サイドカバーを取りはずす。(除くスーパーカスタムの内側)



- (5) リヤシートラックよりコントロールケーブルを取りはずす。
- (6) シートレッグ部のボルト4本を取りはずす。
- (7) リヤNo.3 シートを上方へ持ち上げて平行に車両前方へ移動させ、スライドドアより車外へ取り出す。
注意 トリム類を損傷させない。
- (8) モールディングのシートラック側を引き上げてカバーを開く。



- (9) クリップ2個をはずし、フロアカーペットNo.3 モールディングを取りはずす。



- (10) モールディングリムーバーでブラケット位置をこじて、フロアカーペットNo.2 モールディングを取りはずす。
- (11) リヤシートラックを取りはずす。
- (12) リヤフロアカーペットおよびフロアマットをめくる。
- (13) インスペクションホールカバーを取りはずし、フューエルセンサーゲージ用コネクターを切り離す。

グラントキャビン

- (1) バックドアスカッフプレートを取りはずす。
- (2) リヤNo.3 シートを取りはずす。
- (3) リヤフロアカーペットをめくる。
- (4) インスペクションホールカバーを取りはずし、フューエルセンサーゲージ用コネクターを切り離す。

2 燃料抜き取り

- (1) インスペクションホールカバーからフューエルセンサーゲージを取りはずし、燃料を抜き取る。

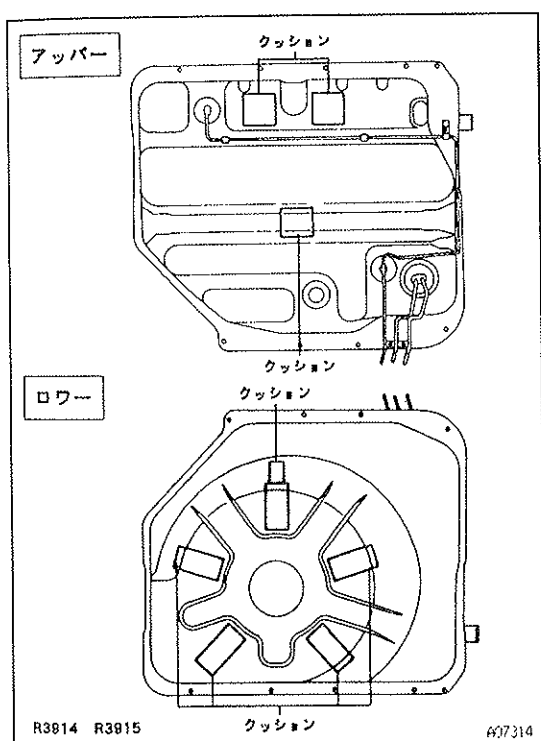
- 3 スペアタイヤ取りはずし
- 4 スペアタイヤキャリア取りはずし
- 5 フューエルメインチューブフューエルホースNo.2 切り離し
- 6 フューエルリターンチューブフューエルホースNo.2 切り離し
- 7 フューエルチェックバルブホース切り離し
- 8 フューエルインレットホースプロテクター取りはずし
- 9 フューエルインレットホース切り離し
- 10 フューエルブリーザーホース切り離し
- 11 フューエルタンク取りはずし

フューエルタンク分解

- 1 フューエルタンクベントチューブ取りはずし
- 2 フューエルエバポレーションチューブ取りはずし
- 3 フューエルカットオフバルブ取りはずし
- 4 フューエルブリーザーホース取りはずし
- 5 フューエルインレットホース取りはずし
- 6 フューエルタンクフィルターパイプローワー取りはずし

フューエルタンク組み付け

- 1 フューエルタンククッション取り付け
(1) 図の位置にフューエルタンククッションを取り付ける。
- 2 フューエルタンクフィルターパイプローワー取り付け
(1) 新品のガスケットを介して、ボルト6本でフューエルタンクフィルターパイプを取り付ける。
- 3 フューエルインレットホース取り付け
- 4 フューエルブリーザーホース取り付け
- 5 フューエルカットオフバルブ取り付け
- 6 フューエルエバポレーションチューブ取り付け
(1) 新品のガスケットを介して、スクリュー8本でフューエルエバポレーションチューブを取り付ける。
- 7 フューエルタンクベントチューブ取り付け
(1) 新品のガスケットを介して、スクリュー5本でフューエルタンクベントチューブを取り付ける。



フューエルタンク取り付け

1 フューエルタンク取り付け

T=195kg・cm

- 2 フューエルブリーザーホース取り付け
- 3 フューエルインレットホース取り付け
- 4 フューエルインレットホースプロテクター取り付け
- 5 フューエルチェックバルブホース取り付け
- 6 フューエルリターンチューブフューエルホースNo.2取り付け
- 7 フューエルメインチューブフューエルホースNo.2取り付け
- 8 スペアタイヤキャリア取り付け
- 9 スペアタイヤ取り付け
- 10 フューエルセンサーゲージ取り付け

- (1) 新品のガスケットを介して、スクリュー5本でフューエルセンサーゲージを取り付ける。

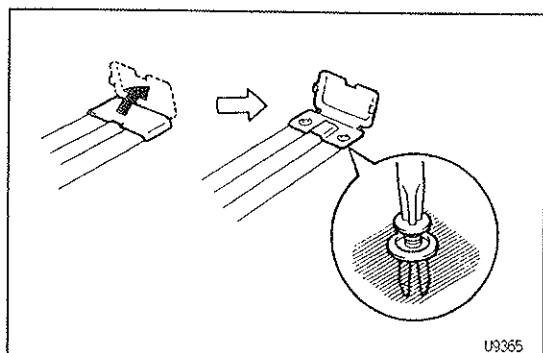
11 フューエルセンサーゲージ用コネクター接続

デラックス, カスタム

- (1) フューエルセンサーゲージ用コネクターを接続し、インスペクションホールカバーを取り付ける。
- (2) リヤフロアマットを敷く。
- (3) リヤNo.3シート用ストライカーを取り付ける。
- (4) リヤNo.3シートを戻す。
- (5) バックドアスカッフプレートを取り付ける。

スーパーカスタム以上

- (1) フューエルセンサーゲージ用コネクターを接続し、インスペクションホールカバーを取り付ける。
- (2) リヤフロアカーペットおよびフロアマットを敷く。
- (3) リヤシートトラックを取り付ける。
- (4) ブラケット位置をたたいて、フロアカーペットNo.2 モールディングを取り付ける。



U9365

- (5) クリップ2個でフロアカーペットNo.3 モールディングを取り付け、カバーを閉じる。
- (6) リヤNo.3シートを取り付ける。
- (7) リヤシートレッグサイドカバーを取り付ける。
- (8) No.3シートレッグNo.1カバーを取り付ける。
- (9) リヤNo.1およびNo.2を取り付ける。
- (10) バックドアスカッフプレートを取り付ける。

T=400kg・cm

グラウンドキャビン

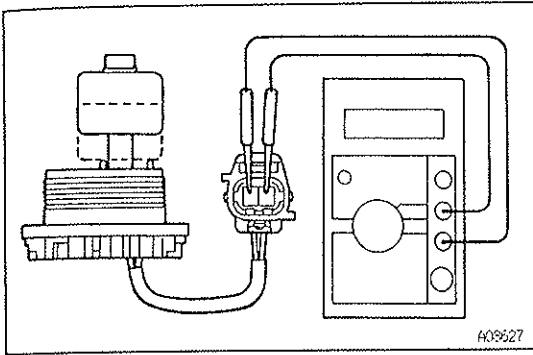
- (1) フューエルセンサーゲージ用コネクタを接続し、インスペクションホールカバーを取り付ける。
- (2) リヤフロアカーペットを敷く。
- (3) リヤNo.3シートを取り付ける。
T=400kg・cm
- (4) バックドアスカッフプレートを取り付ける。

12 燃料注入

13 燃料漏れ点検

単体点検

T0025481



フューエルレベルウォーニングスイッチ

1 導通点検

- (1) トヨタ電気カルテスターを使用して、端子間の導通を確認する。

基準	フロート上端位置	導通あり
	フロート下端位置	導通なし

フューエルヒーター（寒冷地仕様）

1 抵抗点検

- (1) トヨタ電気カルテスターをコネクタの⊕端子とボデー間に接続する。
- (2) マイティバックを使用してバキュームスイッチに 200～300mm Hg の負圧を加え、抵抗を測定する。
基準値 0.5～1.5Ω（常温）

